

教科用図書調査研究調書

中学校

| 種 | 目 | ページ |
|-----|-------|-------|
| 国語 | 国語 | 1～2 |
| | 書写 | 3～4 |
| 社会 | 地理的分野 | 5～6 |
| | 歴史的分野 | 7～10 |
| | 公民的分野 | 11～13 |
| | 地図 | 14 |
| 数 学 | | 15～18 |
| 理 科 | | 19～21 |

| 種 | 目 | ページ |
|-------|------|-------|
| 音楽 | 一般 | 22 |
| | 器楽合奏 | 23 |
| 美術 | | 24～25 |
| 保健体育 | | 26～27 |
| 技術・家庭 | 技術分野 | 28～29 |
| | 家庭分野 | 30～31 |
| 英語 | | 32～34 |
| 道徳 | | 35～38 |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい国語） | 三省堂（現代の国語） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における様々な場面で適切に使うことを念頭において、各単元で習得すべき知識及び技能が明確に示されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を通して、思考力、判断力、表現力等を育成する教材が配列されている。 ・生徒の言語に対する興味関心を喚起する多様な言語活動や、ポイントが明示されており、主体的に学び進められるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文字、音声言語それぞれの分野、形態を網羅した教材配列で、それらに応じた知識及び技能が習得できるように構成されている。 ・各教材に対して、多岐にわたる言語活動が設定されており、思考力、判断力、表現力等の育成が意図されている。 ・読み方及び思考の方法、各教材における学習過程などの例示により、生徒の主体的な学びを喚起するよう工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 各単元に「言葉の力」として、育成する資質・能力が明示され、学年が進むごとに学習が発展的になるよう配慮されている。 (2) 導入に身近な社会生活の場面を描いた「学びの扉」が設けられ、多種多様な教材文がバランス良く配列されるなど配慮されている。 (3) インターネットを通して視覚的な資料につながる「Dマーク」などがあり、生徒が主体的・対話的な学習へ向かうよう工夫されている。 (4) 「国語1～3」を通して、新出漢字を大きく表示したり、各領域をマークや色で、見やすくしたりするなど、適切に工夫されている。 (5) 「国語1～3」に共通のキャラクターが、思考や判断のポイントを示すなど全ての生徒が学びやすいように配慮されている。 | (1) 全学年とも、ほぼ同時期に同分野の教材が難易度に配慮して配列されている。 (2) 幅広い内容や分野を取り上げ、日常の話題や同年代の人物を主人公とした物語など、生徒の学習意欲を喚起するよう配慮されている。 (3) 学習過程を様々な思考の観点や手段を挙げ例示し、考え方や学び方を獲得しやすいよう配慮されている。 (4) 作品本文の文章は明朝体、新出漢字などは教科書体、見出しなどはゴシック体で統一され、字体や行間が視覚的に配慮されている。 (5) イラストや強調のデザインにおいては、原色を避けた配色となっており、視覚的に配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 系統立てて設定された「言葉の力」に適した教材や言語活動が位置付いていて、段階的に指導できるように単元が配列されている。 (2) 同領域の単元の連続性が位置付いていることに加えて、異なる領域においても有効につながるように、相互の関連が図られている。 (3) 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の単元の流れが、思考・判断のポイントと合わせて示されていて、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動が行われるよう配慮されている。 (4) 「広がる言葉」「言葉を広げよう」「他教科から学ぶ漢字」等の活用で、語彙を豊かにし、漢字を使い慣れるための手立てが示されている。 (5) 古典の見開き資料、「文法解説」など、生徒が個に応じた学習に取り組む際に有効に活用できるよう配慮されている。 (6) 「言葉の力」でつきたい力が明示されており、単元末の「振り返り」から、まとめや評価が明確になるよう工夫されている。 | (1) 全学年で各分野、領域を同程度の内容量で網羅しており、螺旋的な学習の積み重ねができるよう配慮されている。 (2) 領域を総合させた単元や系統性をもたせた教材があり、学習した内容を定着させ、次に生かせるよう教材が配置されている。 (3) 一領域に重点を置いた教材の中でも、他領域の活動を学習手段に例示して追究を促すなど、工夫されている。 (4) 学習過程の例示では、知識・技能が各領域と関連付けられるよう工夫されている。 (5) 文学的文章ではさし絵、説明的文章では写真や図表が用いられ、内容把握の手助けや思考のきっかけになるよう配置されている。 (6) 教材の標題の下部に単元としての学習目標が明記され、また、評価の観点を明確にさせ、振り返りがしやすいよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを用いたり、領域ごとに色を分けたり、字の大きさを変えるなど、視覚的に見てもわかりやすくする工夫がされている。 ・「言葉の力」では、各領域で学習するポイントが明示されており、その単元でつきたい力が明確になるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習過程を例示することで、学習者が追究のイメージをもちやすいよう配慮されている。 ・どの教材にも単元や教材の学習目標が明示されており、生徒、教師ともに振り返りや評価がしやすいよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の力」と関連した「学びを支える言葉の力」でつきたい力が整理されており、「書く」「話す・聞く」の力がつくように工夫されている。 ・各学年の巻末に三年間の「言葉の力」が一覧にされており、領域ごとに身につける力を見通すことができるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の文学的文章単元では、「学びの道しるべ」という見開きページにより学習過程がわかりやすい。 ・「読むこと」の説明的文章単元では、プレ教材として「読み方を学ぼう」という教材があり、説明文の読み方を学ぶことができる。 |

| 採択基準 | 発行者名 教育出版（伝え合う言葉 中学国語） | 光村図書出版（国語） |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の小窓」「文法の小窓」では、日常生活の具体的場面から言葉の知識及び技能が身に付けられるようになっている。 ・単元の冒頭に「学びナビ」が位置付けられ、思考力、判断力、表現力等の身に付け方や、活用の仕方が示されている。 ・社会や世界に目を向け、獲得した学びをどう人生や社会に生かしていくかを考えることができる教材が取り入れられている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語感覚を豊かにし、社会生活に活かせる力を育成するために、情報の扱いやその関係を学習できるよう工夫されている。 ・言語活動が組み込まれた学習過程が提示されていて、対話を通して思考力や想像力を養えるよう工夫されている。 ・身近な言語文化に関わる題材を多く扱い、言語感覚を豊かにし、社会生活で生かせるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 生徒の日常生活や言語生活に応じた題材配列で、学習が進むにつれて、文章量が多くなり、抽象的な概念を表す言葉も増えている。 (2) 親しみやすい文学教材から現代社会の課題に対して考えさせられるような教材まで、多種多様な教材がバランス良く配置されている。 (3) 「学びナビ」で学習の流れが明確に位置付けられ、主体的・対話的で、自覚的な学びを促すことができるよう工夫されている。 (4) ユニバーサルデザイン視点から、独自の明朝体やUDフォント、教科書体を用い、学年に応じた文字の大きさ、行間としている。 (5) 写真やさし絵、図表を用いて生徒の興味を喚起するとともに、色覚の特性を考慮した色や形にも配慮されている。 | (1) 教材は、生徒の発達段階に応じて段階的かつ系統的に配置され特定の時期に偏らず、バランスが良くなるよう工夫されている。 (2) 身近な題材から徐々に生き方や広く社会に関わる題材へ、生徒の言語環境と発達段階に応じて学習できるよう工夫されている。 (3) 日常生活に関連したり、知的好奇心を喚起したりするような問いを基にした言語活動が設定されており、主体的・対話的な学習が促されるよう工夫されている。 (4) 発達段階に応じて字詰めや行詰りを狭めたり手書き文字に近いフォントを使ったりするなど工夫されている。 (5) 「学習」では「目標」「学習過程」「振り返り」という学習の流れが一覧でき、見通しがもてるように工夫され、図表は色だけに頼ることなく作成されており、色覚特性に配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が、基礎から発展的内容へと、既習を踏まえて段階的に力が身に付くよう構成されている。 (2) 教材の関連性や連続性をもたせ、「習得」と「活用」を螺旋的にくり返して学びを積み重ねていくような教材化が図られている。 (3) 「目標」「学習活動の流れ」「読みの観点」が明示され、言葉によって主体的に学び、考える力を身に付けられるよう配慮されている。 (4) 文章や話の内容を的確に「読み」「聞き」「理解する」ための知識及び技能が明確に示され、3領域との関連性と系統性が図られている。 (5) どの単元、分野においても、生徒の読解を助け、想像を膨らませられるような挿絵や写真、図表が取り上げられている。 (6) 単元ごとの「振り返り」の観点が明確に示されていることで、学習の目標に照らして自己評価を促すよう工夫されている。 | (1) 生徒の発達段階に合わせて、系統的に学習ができるようにバランス良く教材が配置されている。 (2) 本教材で学んだ内容を活用する教材が設けられ、思考力、判断力、表現力等の力を実践を通して高められるよう配慮されている。 (3) 単元ごとに自分の言葉で表現する学習が示され、文章を理解し、適切に表現する力を付けることができるよう工夫されている。 (4) 各単元展開中の「学習の窓」を手がかりに、教師と生徒が見通しをもちながら学びを深めることができるよう工夫されている。 (5) 情報整理の仕方や思考の方法などを図で説明していて、視覚的な資料を用いて指導することができるよう配慮されている。 (6) 単元の振り返りを具体項目で設定し、目標と付ける力を意識して学習し、自己評価を次の学習につなげられるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元冒頭の「学びナビ」で学習の重点や観点を把握でき、見通しをもつこと、主体的な取り組み、深い学びにつなげられる。 ・SDGsを取り入れた題材や問いが設定され、社会とのつながりを踏まえて国語の力を育めるよう配慮されている。 | (1) 教材に合わせた「学習」が設けられており、見通しをもつことで、主体的に学習を進められるよう工夫されている。 (2) 教科書の随所に Web コンテンツが記載され、教科書の内容と連動したコンテンツを閲覧・活用できるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた魅力的な題材が取り上げられ、「どう学習するか」を明確にイメージしながら、学ぶ中で「言葉の力」が身につくよう配慮されている。 ・SDGsの視点を取り入れた多様な教材を学ぶことで、社会に生きる力を伸ばすよう工夫されている。また、使用されている文字やカラーはユニバーサルデザインについて配慮されている。 | (1) 生徒の発達段階に応じて、系統的にバランスよく学習でき、追及の見通しをもって学習できるよう工夫されている。 (2) Web コンテンツが充実しており、様々な言語活動で、生徒の興味関心に合わせ、主体的に深く学べるよう工夫されている。 |

| 採択基準 発行者名 | 東京書籍（新しい書写） | 三省堂（現代の書写） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 文字を正しく整えて速く書くために必要な知識及び技能が「書写のかぎ」として明確化・焦点化されている。 身に付けた知識及び技能を活用する場面が「生かそう」と「生活に広げよう」の2段階で設定されている。 生活の中に生きる書写を実感し、手で書くことの意義や価値に気付くことができるよう構成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 書写の基礎的な知識や技能を確認すると同時に、文字についての幅広い興味をもてるよう工夫されている。 日常生活の書く場面を想定した教材が多く、相手や場面を思考、判断し、学んだことを効果的に表現できるよう工夫されている。 学習の流れや学習すべき内容が一目で分かり、学習の見通しをもって、主体的に進められるよう工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等】 | <ol style="list-style-type: none"> 楷書や行書、両者の使い分け、場面や目的に応じた書き方などを習得できるように、発達段階に応じた教材文字が配置されている。 興味・関心を喚起して文字文化の豊かさに触れる「文字のいずみ」、生活に即して知識及び技能を活用する「生活に広げよう」が設けられ、主体的に学ぶことができるよう配慮されている。 1つの単元が「見つけよう・確かめよう・生かそう」の3段階で構成されていて、生徒の気付きを起点に具体的な知識及び技能が身に付けられるよう配慮されている。 紙面のユニバーサルデザイン化、利き手に関わらず書きやすい配置など、全ての生徒が学びやすくなるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 単元は書写の基本から始まり、楷書、仮名、行書、社会生活での文字文化へと学習が進み、発達段階に即して配列されている。 文字の変遷や身の回りの文字を紹介し、導入段階で単元の基本構成を簡潔に示すことで生徒が学習過程を意識し、興味をもって主体的に学びを進めていけるよう工夫されている。 各学年末に、書写で学んだことを生かせる活動を取り入れることで、学んだことの有効性に気付き、国語学習や他教科との横断的な学習のつながりが生まれるよう工夫されている。 図、さし絵、写真等が多く、色覚を考慮した色合いで配色された紙面により、精選された情報量になるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価】 | <ol style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」で、点画の書き方、省略、行書と仮名の調和などの学習事項を段階的に指導できるよう単元が配列されている。 楷書と行書を比較して点画の差を意識しながら、硬筆・毛筆ともに基礎的な技能が段階的に指導できるよう配慮されている。 目的に沿って書写の力を生かす「書写活用ブック」に様々な題材が配列され、生活に役立つ力を育てられるよう工夫されている。 行書の4つの「動き」などを示す淡墨図、映像につながる「Dマークコンテンツ」があり、指導に生かせるよう工夫されている。 「振り返って話そう」「書写テスト」などのページで、まとめや評価の観点が教師・生徒にとって明確になるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 各学年の発達段階に即した教材が見開きで構成されており、単元で学習する内容が分かりやすいよう工夫されている。 学習指導要領の書写の指導の配慮事項を踏まえ、毛筆で確かめた内容を硬筆でくり返し書き定着できるよう配慮されている。 単元ごとに書き込み欄が多く配置されており、学習した内容の定着と、社会生活への活用を促すよう配慮されている。 運筆のデジタル資料が用意され、穂先の動きが朱墨で表現される等、視覚的に筆の運び方が指導できるよう工夫されている。 単元の終末に「振り返ろう」「書いて身につけよう」があることにより、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 仕事の中での手書き文字が紹介され、文字文化の豊かさに触れながら生活とのつながりを意識できるよう配慮されている。 硬筆・毛筆ともに学習事項が「書写のかぎ」として系統的に示されていて、主体的に学習できるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の文字や書き方の課題を自覚し、改善するために、螺旋的に学習を進め、日常に生かせるよう配慮されている。 国語教科書と関連をもたせた題材を取り上げ、生徒の学習意欲を喚起するよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入場面に「見つけよう」を設け、文字から「書写のかぎ」を見つけ出すことで、「学びたい」という意欲を引き出すようにしている。 手で文字を書く力は、将来にわたって必要になることを意識することができるように、未来の自分の姿を想像することができるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会生活の中で活用することができる書き方のポイントを「書き方を学ぼう」で示し、学習内容を明確化している。 硬筆による書き込みページを設けて、学習したことを多様な「書く」場面で主体的に活用する力を育てられるようにしている。 |

| 採択基準 発行者名 | 教育出版（中学書写） | 光村図書出版（中学書写） |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・「試し書き」「生かそう」「まとめ書きと応用」で、書き込みながら必要な知識及び技能を身に付けられるよう工夫されている。 ・「考えよう」で、自分の課題を発見し、課題を解決していく学び方を習得できるよう工夫されている。 ・ポスターや案内状、手紙といった日常の場面で活用したり、将来に生かしたいという意欲を持ったりできるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本、原理・原則を明確に示すことで、文字の書き方だけでなく知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。 ・全教材で「考え」「確かめ」「生かす」という学習展開が固定されているため、生徒自ら主体的に学習できるよう工夫されている。 ・身の回りの文字文化に触れられる資料が豊富に取り上げられていて、書写学習で身に付けた力を生活で活用できるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 硬筆・毛筆教材ともに生徒の発達段階や語彙・言語環境が考慮され、習得しやすい文字や語句が教材化されている。 (2) メモや新聞、メッセージカードなどの分かりやすくまとめる力から、便箋や封筒、願書や志願理由書などの実社会で活用できる力まで、生きて働く書写の力を身に付けられるよう工夫されている。 (3) 硬筆による「試し書き」で願いと見通しを持ち、「考えよう」では、部分に着目することで、自らの気づきから必要な技能を身に付けられるよう配慮されている。 (4) 写真、行書の特徴のアイコン表示、学習内容を確認する書き込み欄など、生徒が学びやすいように配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の発達段階に即した書体が題材として示されており、国語の教科書と連携したものだけでなく、自然の美しさや希望、優れた言葉・文章が選定されている。 (2) 手紙やはがき、書式や活用例、デザインや書体についても扱い、生徒が幅広く興味・関心を持てるよう配慮されている。 (3) 「考えよう」は、言葉での説明が難しい学習当初の段階でも容易に取り組める。それを基に「確かめよう」で技術を習得し、「生かそう」では硬筆等実生活に生かすことができるよう工夫されている。 (4) Web コンテンツから繰り返し視聴できる動画教材によって、視覚的に理解が深まるよう工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 楷書体から行書体、行書と仮名の調和、点画の変化と連続というように、発達段階に応じた単元が配列されている。 (2) 分かりやすい図により基本的な技能、知識が確認でき、徐々に高度な書写に挑戦できるように配慮されている。 (3) 国語の教科書との連携や、古典の文章の効果的配列がなされ、実用だけでなく、書く楽しみを味わえるように配慮されており、生徒の主体的な学習を育てる工夫がなされている。 (4) 「コラム」では、日常生活や暮らしと結びつけながら、書写の面白さや奥深さを伝えられるよう工夫されている。 (5) 「試し書き」と対応した「まとめ書きと応用」、自己評価としての「振り返ろう」で、自己の学びを自覚的にとらえることができるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 3年間で学習したことが日常化されるよう、発達段階に合わせて段階的かつ系統的に単元が配列されている。 (2) 硬筆・毛筆の筆遣いを順に学べて、かつ手本の書体や形態を統一することで生徒が円滑に練習できるよう工夫されている。 (3) 文字の歴史や成り立ちの資料、UD書体や様々な書体の使用例など身近な文字文化の紹介の資料があるため、授業以外の日常生活の中でも、生徒が興味を持って学習できるよう配慮されている。 (4) ほぼ半紙大の手本が多く、余白の図により運筆や書き順が確認でき、生徒が集中して練習できるよう工夫されている。 (5) 各学習事項のはじめに目標が明示されており、「振り返り」の自己評価項目が具体的に提示されるとともに、「硬筆練習帳」と連携できるように工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書との連携が図られているので、書写の学習を取り入れた国語の授業づくりができるよう工夫されている。 ・さまざまな筆記用具の字体を紹介し、筆記用具を選択する大切さを実感できるように配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真やWeb コンテンツが配列されており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるように工夫されている。 ・言葉での過度な説明を避け、生徒の気づきや発見を大事にすることにより、生徒の自発的な学びを支援できるように工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で分かりやすい解説、氏名の位置まで示した手本などにより、書写学習に苦手意識のある生徒も学びやすいよう工夫されている。 ・「書写テスト」や巻末資料などで、特に硬筆を扱う日常場面を想定するなど、毛筆と硬筆連携がスムーズであるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が記入して使う硬筆練習帳「書写ブック」を独立させ、書作品の制作とともに、実生活に生かす力が育成されるよう工夫されている。 ・図や解説が過度にならず適当であり、視覚資料を活用することで自ら学ぶ意欲を醸成できるように工夫されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい社会 地理） | 教育出版（中学社会 地理 地域にまなぶ） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方コーナー」を設け、社会的事象を考察する際の「視点や方法（考え方）」について考えられる「問い」が工夫されている。 ・単元及び1時間の授業を、「問い」をもとに生徒が課題追究したり、意見を交わしたりする活動を行いやすいように工夫されている。 ・持続可能な社会の実現に向けての特設ページを設け、国際社会において主体的に生きる資質・能力の基礎を育成できるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地理的な見方・考え方として、5つの視点を具体的に示したページを設け、地理的な見方・考え方を働かせやすい工夫がされている。 ・本文に即した資料を豊富に提示し、それらを読み取りながら学習を進められるように工夫されている。 ・SDGsを紹介したり、世界の諸地域で学習する地球的課題を示したりすることで、国際社会に生きる資質・能力の基礎を育成できる。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)比較的平易な言葉や文章が使用されており、因果関係も明確に記述されているため、わかりやすく、適切な分量と内容であると考えます。 (2)「世界の諸地域」や「日本の諸地域」では、各節のまとめの活動として「もっ地理」コーナーを設け、生徒の学びの広がりや深まりを導く工夫がされている。 (3)「みんなでチャレンジ」コーナーでは、グループで協力しながら課題に取り組み、主体的に対話的な学習ができるよう工夫されている。 (4)地理学習のまとめでは、SDGsに照らし合わせて身近な地域の課題を踏まえた将来像を構想できるよう配慮されている。 (5)資料が大きく、色合いもはっきりして見やすい。複数の資料を比較・関連づけて提示する割付を工夫し、生徒の資料を根拠に追究できる。 | (1)本文は平易な文を使用し、生徒にとってわかりやすい。また、1時間の授業を行うにあたって適切な分量と程度であると考えます。 (2)学習コラム「地理の窓」を設け、教科書の学習内容から、さらに興味・関心を広げていけるよう工夫されている。 (3)世界と日本の諸地域の単元の最後には「地域から世界を考えよう」という特設ページを設け、現代における世界の話や日本の課題から学習を深めることができるよう工夫されている。 (4)地域調査の手法の学習では、調査の視点を具体的に示し生徒が調査や表現活動を進めやすいよう工夫されている。 (5)各単元の扉ページの導入写真を大きく掲載し、生徒の関心を高める配慮がされている。また、世界や日本の諸地域における州や地方の地図も大きく掲載し、生徒にとって読み取りやすい工夫がされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)生徒の発達段階を考慮し、「スキル・アップ」では、基礎的・基本的な地理的技術の習得が段階的に高められるよう工夫されている。 (2)単元全体を貫く「探求課題」を設定し、その解決にむけて毎時間の「学習課題」を追究していくよう構成されている。 (3)単元のはじめに、その単元で主に働かせる社会的な見方・考え方を示し、その見方・考え方を活用する場面を設けることで、多面的・多角的な見方・考え方を養いながら学習を進められるよう配慮されている。 (4)持続可能な社会の実現やSDGsを取り上げ、現代の諸課題の解決に向けて学べるよう配慮されている。 (5)世界や日本の諸地域では写真を豊富に掲載したり、統計資料や地図等を適切に配置したりし、根拠をもって考えさせる工夫が見られる。 (6)単元の終末では、さまざまな思考ツールを用いたまとめの活動やまとめる観点を示し、生徒が学習の広がりや深まりを表現できるよう工夫されている。 | (1)地図やグラフなどの学習をする「地理の技」コーナーを設け、基礎的・基本的な技能の習得が段階的に高められるよう工夫されている。 (2)単元を貫く「学習テーマ」の設定、毎時間の学習課題の追究、特設ページでの学習の深化、「学習のまとめと表現」のページでの知識の定着と表現活動という一連の学習となるよう単元が構成されている。 (3)地理的な見方・考え方として、5つの視点を示したページを設け、単元のまとめでは意見交換のテーマを設定することで、社会的事象の特色や関連を多面的・多角的に考える力を養う配慮がされている。 (4)世界の諸地域では地球的課題を設定するなど、現代的な諸課題の解決に向けて学べるよう配慮されている。 (5)「まなびリンク」で学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで見ることができ、家庭学習指導に生かせる工夫がされている。 (6)「確認」と「表現」のコーナーを設け、1時間の授業の最後に基礎的な知識の確認や地理的な見方・考え方を働かせられる工夫がみられる。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最後に、思考ツールを用いた対話的な活動を設定し、学習内容と関連付けて思考力・判断力・表現力を高めながら、「探求課題」を解決できるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な資料を用いて考察する学習を重視し、思考力・判断力・表現力を高めながら学習課題を解決していく構成となるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのように学ぶのかの視点が重視され、教科書に示されている主教材をもとにして学習・指導の充実が図れるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載された社会的事象から問題を見出し、解決に向けて、資料や調査活動を根拠に、具体的に学べるように配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 帝国書院(社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土) | 日本文教出版(中学社会 地理的分野) |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 単元を貫く問いを基に、自然環境や文化、産業の学習をバランスよく構成し、地域的特色がとらえられるよう工夫されている。 学習課題に対応した言語活動を毎時間設定し、思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。 持続可能な社会について追究する学習を多く設定し、主体的に社会に参画する態度を養えるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に示された、五つの「地理的な見方・考え方」を明確に示し、単元ごとにどの視点を働かせて考察するかが示されている。 地域の課題解決を目指す学習や防災の実践的な学習を通して、社会の形成と発展にかかわろうとする態度を養えるよう配慮されている。 主題や考察の仕方などのテーマを中心に、各地域の地域的特色や課題がとらえられるように工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 地理的事象の背景や因果関係をわかりやすい本文で示し、図や写真への参照指示や難しい語句の解説が記載されている。 (2) 「章(節)の学習を振り返ろう」で、様々なまとめ方の例が示され、今までの学びの深まりを広く実感できる工夫がされている。 (3) 適宜、二次元コードが表示され、生徒が端末を使って調べたり、学習をしたりするICT教育にも対応できるよう工夫されている。 (4) 社会的な見方・考え方を働かせながら地域の課題解決に向けた構想ができるよう配慮されている。 (5) 「説明しよう」では学習課題に対応した言語活動を毎時間設定し、「思考力・判断力・表現力等」が育成されるよう工夫されている。 | (1) 本文は授業一時間を見開き2ページとし、地理的事象について豊富な文字数とわかりやすい表現で具体的に記述するなど、学習の深度にあった学習となるように配慮されている。 (2) 単元の導入で地域的特色を具体的に示した大きな写真とクイズを掲載し、関心・意欲を高められるように工夫されている。 (3) 単元を貫く問いを基に、自然環境や文化、産業の学習をバランスよく構成し、地域的特色がとらえられるように工夫されている。 (4) 調査方法やまとめ方、発表の方法を具体的に示し、社会的な見方・考え方を働かせながら地域の課題解決に向けた考察ができる単元を設け、主体的に学習できる配慮がみられる。 (5) 地図やグラフの配色、模様や線種を工夫し、正しく読み取りができるように配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 単元の学習内容に合わせて「技能をみがく」コーナーを随所に設け、地図・写真・統計・グラフの読み取り方など地理学習の基礎的な技能を身に付けられるよう工夫されている。 (2) 単元のはじめにその地域の基礎・基本となる概要を学んだあと、連続的に追究できるよう単元が構成されている。 (3) 巻頭で地理的な見方・考え方とは何かを説明し、単元全体では資料活用の視点を示し、図版や本文の中でどの社会的な見方・考え方を意識して学習を進めていくかについて配慮されている。 (4) 「未来へ向けて」や「地域のあり方を考える」で、地域の人々が共同して課題解決に向けて取り組む姿に触れ、主体的に課題解決に取り組む公民的態度が養えるように配慮されている。 (5) 資料を豊富に掲載し、参照資料の図番号などのリンク機能や資料の読み取りのポイントなどがわかりやすく示されている。 (6) 「章(節)の学習を振り返ろう」で、まとめや評価の観点を明確に示すよう工夫されている。 | (1) 「スキルUP」では資料の読み取り方を提示し、基本となる地理的技能が習得できるよう配慮されている。 (2) 単元の導入となる「クイズ」で興味をもたせ、単元を「大観」するページから「学習課題」が設定され、「ふりかえり」のページまで連続的に追究できるよう単元が構成されている。 (3) 学習課題解決の手掛かりになる「見方・考え方」を冒頭で示し、どの視点で課題解決をするのか意識しながら学習を進められる。 (4) コラム「自由研究」や「+α」、「チャレンジ地理」のコーナーでクラス討論をするなど、生徒の興味関心を高め、自分事として課題解決に取り組む態度を養えるように工夫されている。 (5) 関連する図版番号を本文に付すことで、授業中に資料を活用させやすいよう工夫されている。 (6) 「確認」や単元末の「学習のまとめ」で学習内容のまとめが示され、知識の定着が図れるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> はっきりした濃い色使いで様々な資料やコラムが多く掲載されている。個々の追究に必要な情報量も多く、主体的に学習ができるような配慮が随所にみられる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習課題解決の手掛かりになる「見方・考え方」をあらかじめ示し、どの視点で課題を解決するのかを意識しながら学習を進めることができる。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら調べられるような写真や資料、コラムなどを多く掲載し、また、様々なまとめ方の具体例を示すなど、主体的に学習に取り組むやすいように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの着眼点を明確にし、解説や具体例を掲載することで、社会的な見方・考え方を育みながら、課題追究ができるように配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい社会 歴史） | 教育出版（中学社会 歴史 未来をひらく） |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとまりを重視した紙面構成で必要な技能が身につく活動的なコーナー設けられている。 ・生徒の思考力や判断力、表現力を高める「まとめの活動」に力を入れており、生徒の自分の見方考え方を表現しやすい配慮がされている。 ・SDGs の視点から現代的な諸課題を読み解くコーナーが設けられ、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う配慮がされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野に必要な基礎的・基本的な内容が適切に記載され、わかりやすい編成となっている。 ・社会の変化や今日的課題が反映された事象を取り上げることで、生徒の未来を切り開くための力を養う配慮がされている。 ・身近な地域を調べる学習についてどのように地域と関わりながら学習を進めていけば良いかが示されており、社会の形成者としての自覚や社会参画への意思が養われるような配慮がされている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 小学校を振り返りながら課題を把握する導入によって、どの生徒にも親しみやすく学習が出来るような工夫がされている。 (2) 対話的な授業を効果的に実践するための協働的な学習コーナーが単元の導入部分に提示されている。 (3) 生徒や教師のキャラクターの会話で、生徒が探究していく課題を解決するヒントが示され、生徒が容易に、主体的に学習できるような配慮がされている。 (4) 教科書内の随所に「見方・考え方マーク」が付され、生徒が見方や考え方を広げ深めながら課題解決学習に取り組める配慮がされている。 (5) 色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせが採用されており、フラットなデザインで目の前の学習に集中できるレイアウトになっている。 | (1) 学習の中心となる資料が大きく掲載されており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。 (2) 1 時間見開き 2 ページの中に本文と資料及び学習活動がバランス良く配置しており、生徒が追究の見通しをもちやすい配慮がされている。 (3) 見方や考え方を働かせる学びや資料活用を支援するコーナーが設けられ、小学校社会科からのスムーズな接続が図られている。 (4) 教科書内の 7 か所で資料活用の方法や手順を示し、17 か所に資料を読み解く視点が問いの形で示されているため、生徒の見方や考え方を広げ深めやすい工夫がなされている。 (5) 時代スケールが各ページに設けられ、自分が学習している時代を意識することができ、大きな歴史の流れと関連づけられるような配慮がなされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 指導内容がバランス良く配置され、何を根拠にして過去を捉えるかということが本文全般に記載されている。 (2) 単元内構成は 1 時間の見通しをもたせる学習課題が明示され、2 段階の「チェック & トライ」で学習内容の定着を図るよう工夫されている。 (3) 思考を整理する多様なツールが思考力・判断力・表現力を高めるための活動として提示されており、生徒が主体的に見方・考え方を広げ深められるよう配慮されている。 (4) 学習課題の設定内容は、生徒の追究にたえうる質の高いものとなっている。 (5) 実際の資料を掲載しており、資料から考える学習が重視され、「時期や年代」「相互の関連と比較」「現在とのつながり」といった見方や考え方を身につけられる配慮がされている。 (6) 単元のまとめとしての活動では、問いの構造図が示され、1 時間毎の学習課題の解決が、単元を貫く学習問題の解決につながっていく工夫がされている。 | (1) 学習指導要領の内容に沿っており、無理なく学習をすすめられるよう単元配列も工夫されている。 (2) 単元の構成は、内容のまとまりごとの見通しや振り返りの学習場面が充実しており、生徒の主体的な学びを助ける工夫がされている。 (3) 視点を変えて歴史を捉え直す 20 テーマが設けられ、生徒が多面的多角的に歴史事象を捉えるための配慮がされている。 (4) 学習課題の提示は、本時で何について追究していくのかという学びの見通しのもてる工夫がされている。 (5) 「歴史の技」コーナーでは資料活用の方法や手順を示し、生徒の資料活用技能を高めよう工夫している。 (6) 本時の学習をまとめ整理する「確認」と、学習内容を自分の言葉で説明し対話する「表現」という 2 段階の問いで本時の学習を振り返り、深い学びを実現するための配慮がなされている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒にとって学びやすい配慮がされており、他分野や他教科との関係性も感じながら、多面的・多角的に考察する力を養う工夫がされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の提案を社会に向けて行うための発信と対話の活動を取り上げており、主体的に自分のこととして歴史的事象を考える事ができる構成となっている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元を構造化することで課題解決的な学習をすすめることができ、生徒の実態に応じた学習の充実が図れるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学びを広げつなげていく構成がされており、持続可能な社会を創造する市民を育成するような配慮がされている。 |

| 採択基準 | 発行者名 帝国書院(社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き) | 山川出版社（中学歴史 日本と世界） |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・章や節ごとに単元を貫く問いが設定されており、社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 ・今日的な課題への対応が示され、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うよう配慮されている。 ・単元が構造化され、基礎的な技能を身につける工夫が随所に見られ、公民としての資質・能力の基礎を育成できるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今日的な課題への対応を示し、より良い社会の実現を目指して課題を主体的に解決しようとする態度を養うよう配慮されている。 ・全体の叙述の中で、生命の尊さや環境問題、災害にも視点を向ける工夫がされている。 ・日本や世界が抱える諸課題についてアプローチがなされており、日本の文化的な特色についても詳しい記述がされている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 写真や地図、年表などが大きく見やすく提示され、歴史への興味関心が喚起されるようになっている。 (2) 生徒に親しみやすい文体で書かれており、大きなイラストや重要な場面を探し出す[次の場面をさがしてみよう]などの工夫で生徒の興味関心を引き出している。 (3) 各章末には、「章の学習を振り返ろう」が配置されており、章で得た知識をいかして、歴史的な見方や考え方を働かせつつ、単元を貫く問いに対して、思考・判断・表現する課題が設けられている。 (4) 学習内容と関連する歴史的な事象を題材にした「多面的多角的に考えてみよう」が設けられており、1つのテーマについて生徒が自分なりに考え、表現できるように配慮されている。 (5) 資料はカラーユニバーサルデザインの配慮がされており、誰でも読み取りやすい工夫がされている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 図版が見やすくレイアウトされ、図版や資料には番号を付けることで、本文との関連がわかりやすく示されている。 (2) 歴史上の人物について、エピソードなどを盛り込んだ人物コラムが充実しており、生徒が関心を高めて学習に向かえる工夫がされている。 (3) 各章末のまとめでは、単元全体の推移と因果関係に着目できる発問が随所に用意され、各時代の特徴を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 (4) 政治史のみならず、社会経済面においても記述がされていたり、価値観の異なる資料が提示されたりしているため、生徒が多面的・多角的な考察が出来る配慮がされている。 (5) 掲載資料は原文に加えて分かりやすい口語体が同時に表記されているものが多く、生徒が容易に内容を理解できるよう工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 標準授業時間数 135 時間のうち 126 時間を活用する配当で、履修内容がつながり良く配置されている。 (2) 単元内構成は各種コーナーの意図や役割が一目でわかり、学習の位置づけや見通しが掴みやすい工夫がなされている。 (3) 各見開きには、1 時間事の導入となる資料が設けられ、生徒が驚きや疑問をもって学習に取り組めるようになっている。 (4) 問いを構造化することや、多面的・多角的に歴史を捉えられるような配慮がなされている。 (5) 掲載資料は精選されたものが多く、親しみやすい中学生のキャラクターが発問や気づきを提示したり、図版や写真やコラムが相互にリンクが張られ活用しやすい工夫がされたりしている。 (6) 単元を貫く「章の問い」や、各見開きの[学習課題][確認][説明]など問いが構造化され、単元を通して課題解決学習がしやすいものとなっている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領の内容に沿っており、135 時間で無理なく履修できるよう配慮されている。 (2) 各単元が、導入→本文→ステップアップによる振り返りという流れで統一され、知識と技能を身につけさせられる構造となっている。 (3) 章扉に写真と帯年表が付けられ、視覚的に流れをつかめるような工夫がされている。そのため、テーマ史や特定の事象をクローズアップした頁で、多様な視点から考えさせられるよう配慮されている。 (4) 各単元の冒頭に単元理解のための発問があり、単元の内容が前提・結果・影響という道筋をたどっており、歴史的な事象が現代の私たちにどのような影響をあたえているのか考えさせる工夫がされている。 (5) 多くの発問付きの資料が掲載されおり、生徒に多面的・多角的に考察させやすい工夫がされている。 (6) 章のまとめの頁では、時代全体を俯瞰して考えるための問いかけが用意されており、時代の転換点を自分の言葉で表現させる工夫がみられる。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・各項目で生徒の興味関心を引き出せるように、歴史上の出来事の因果関係が記述されている。また、自分の意見を他者と比べながら情報を客観的に分析する能力が身につけられるようになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料が充実しており、高校で日本史や世界史を学習することを意識したつくりとなっている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのように学んでいけば良いのかという視点に重きが置かれ、生徒の実態に応じた指導計画の作成ができるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を口語体にしたり、文体を「である」調で表記したりし、高校への接続を強く意識した内容となっている。学びに向かう力や思考力、判断力が育成できるよう配慮がされている。 |

| 採択基準 | 発行者名 日本文教出版（中学社会 歴史的分野） | 育鵬社（[最新] 新しい日本の歴史） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象の原因や結果を本文で明確に記述し、それを補完する資料を配置して、関連付けて読み取れるようになっている。 ・考察のヒントとなるように「見方・考え方」を各ページで明示し、思考力や判断力を養えるよう配慮されている。 ・平易で簡潔な文章記述で、生徒が自ら学べるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界史との関連付けを意識させながら日本の歴史の流れを追えるよう配慮されている。 ・見開き2ページのまとめとして、言語による表現活動を取り入れられるよう最後に説明文記述の指示が配置されている。 ・導入資料を見開き冒頭に配置し、生徒が興味や関心をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 [本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等] | (1) 平易な文章記述や精選した資料配置により、学習意欲が高まるよう配慮されている。 (2) 略年表を欄外に常に表示したり、小学校との学習や地理、公民とのつながりを示したりして、追究意欲を高めるよう配慮されている。 (3) 冒頭に「見方・考え方」のコーナーを設け、学習課題解決の手がかりを例示している。 (4) 見開き2ページの最後に「確認」を置き、習得した知識や技能を用いて自分の考えを文章化、言語化できるように配慮されている。 (5) カラーユニバーサルデザインに対応した配色やUDフォントを使用して資料が読み取りやすくなるよう配慮されている。 | (1) 各章、各単元の導入で問題提起となる発問を置き、意欲をもって取り組めるよう配慮されている。 (2) 各章、各単元の導入で問題的となる発問を置き、意欲をもって取り組めるよう配慮されている。 (3) 導入資料と学習課題を冒頭に明示しており、まとめではレポートや論述形式等の多様な言語活動に取り組めるようになっている。 (4) 単元ごとの「学習のまとめ」では、各時代を年表や資料の読み取りから多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。 (5) 資料は明るく見やすい色彩を用い、本文の記述と関連付けて提示されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い [「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価] | (1) 歴史的事象のつながりを意識し、関連性をもった単元配列がなされている。 (2) 単元の中で歴史的事象の連続性や必然性が捉えやすいように単元が構成されている。 (3) 第1編において、歴史的な見方・考え方を具体的に示して学習の仕方を例示し、歴史学習の方法を分かりやすくまとめている。 (4) 学習課題が冒頭に明示され、ねらいがつかみやすくなっている。また、追究の手がかりとして「見方・考え方」が例示されている。 (5) 資料の図版番号を本文の中に入れ込み、矢印で示すなど、関連付けやすく資料提示されている。 (6) 単元の導入でその単元の「めあて」が明示され、単元のまとめで表や文章で学習内容をまとめられるように工夫されている。 | (1) 各章の初めに「歴史絵巻」を設け、各時代の歴史の大きな流れや特色を捉えやすいようになっている。 (2) 全体を三部構成とし、各章冒頭に「歴史博物館をデザインしよう」のページを置いて時代の特色をつかめるよう配慮されている。 (3) 序章で歴史の大まかな流れや調べ学習の仕方を例示し、小学校の内容も想起して学習に取り組めるよう配慮されている。 (4) 見開き2ページの冒頭に導入資料と学習課題を示して、見通しをもって追究できるよう配慮されている。 (5) 部分的に資料を拡大したり、実寸を併記したりするなど生徒の興味関心が高まるよう配慮されている。 (6) 「学習のまとめ」を単元の終わりに置き、年表や暮らしや文化の資料等から時代の特色をまとめられるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・平易な本文や見やすく配置された資料などにより、歴史的事象のつながりを意識して学べるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入資料とそのポイントを掲載したり、単元のまとめで時代の特色を文章でまとめたりできるよう、主体的に学べる配慮がなされている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・追究の手がかりとなる見方や考え方を冒頭に明示することで、学習課題に主体的に取り組みながら、思考力や判断力を養えるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の間世界史と日本史との関連を意識させるページを設けて、世界史を背景にして日本の歴史を学べるよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 学び舎（ともに学ぶ人間の歴史） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・章末のまとめのページでは、地図や写真資料、年表を用いて基本的な知識を身につけられるよう配慮されている。 ・その時代に暮らす民衆の視点に重点を置いた資料を掲載し、多面的・多角的な考察や課題解決の判断力を養えるよう配慮されている。 ・各章の導入部に単元を通しての学習課題が据えられており、生徒の意欲を高め主体的に学べるよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) A 4判のため、大きく見やすいレイアウトで資料が配置され、意欲的に学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 政治の指導者だけでなく、民衆の視点から見た資料によって、生徒の興味や関心が高まるように工夫されている。 (3) 学習課題を冒頭に示し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (4) 章末では、学習内容を関連付けて考え、文章でまとめを記述する課題が設定され、表現力を養えるように配慮されている。 (5) 大きく見やすい図版を精選して掲載しており、追究意欲が高まるよう配慮されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 各章の冒頭にその時代の各地の様子を示す資料を掲載して、時代を大きく捉えられるよう配慮されている。 (2) 章ごとに扉のページと振り返りのページを設け、単元を通しての課題を意識できるように単元が構成されている。 (3) 「歴史への案内」のページで、年表への書き込みや調べ学習の仕方を紹介し、主体的に歴史学習に取り組めるよう配慮されている。 (4) 冒頭に学習課題が明示され、課題意識をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 (5) 大きく見やすい写真資料や地図などが配置され、現代社会の課題ともつながるような資料も多く使われている。 (6) 章末のまとめのページでは、基本事項の確認に加え、グループ学習や調べ学習、発表など多様な形式でのまとめ方が提示されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・A 4版であることを生かした大きく見やすい資料配置がなされている。また、歴史上の重要人物だけでなく、多様な分野や階層の人々についての資料を用いて、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 | |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・その時代に生きていた一般の人々の思いや願いに着目させる資料により、より主体的な目線で学習に取り組めるよう配慮されている。 | |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい社会 公民） | 教育出版（中学社会 公民 とともに生きる） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握した上で、追究、まとめの学習に取り組み、現代社会の様子や仕組みについての理解を深められるよう配慮されている。 ・身近な事象から見える課題把握の学習を単元の導入に据え、進度に応じて多面的・多角的に考察ができる単元構成となっている。 ・課題追究を深めるコラムや学習活動などが適宜例示され、生徒が主体的に課題解決学習を行えるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章のはじめに「学習の見通し」というコーナーを設けて、学習する内容や、どのような見方・考え方を身につけるのかを示している。 ・単元の導入で身近な社会的事象から追究テーマを設定し、単元の終末でテーマについての見方・考え方を交流し合う構成となっている。 ・1時間の授業の中で思考・判断・表現する学習活動が位置づけられ、その支援のための解説や演習活動が適宜示されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)各章の導入で身近な事象に関わるワークショップやグループ討議などが示され、生徒の興味・関心を高める配慮がされている。 (2)「みんなでチャレンジ」「見方・考え方」などが各章内に配置され、生徒の追究を深化させるための工夫が見られる。 (3)各章の最後に探究の過程を振り返ったり、学習内容を整理したりする学習活動が様々な形態で設定され、学び方の幅を広げている。 (4)「まとめの活動」では自分の見方や考え方を整理し、意見を発表し合う活動が位置づけられ、表現力を高める工夫がされている。 (5)表・グラフ・図・写真などの資料が、毎時間の学習に偏りなく示され、生徒の資料活用の技能に広がりをもたせる工夫がされている。 | (1)毎時間毎の見開きの最初に、中学生のキャラクターが本時のキーワードとなる問いを投げかけ、関心を高める配慮がされている。 (2)「公民の技」「公民の窓」などが随所に配置され、生徒の技能や表現力を高めたり、見方・考え方を広げ深めたりする工夫が見られる。 (3)各章の最後に追究テーマについて自分の見方・考え方を整理し表現する問いが設定され、学習の深まりを実感できる配慮がみられる。 (4)「言葉で伝え合おう」のコーナーでは、ディベートやプレゼンテーションなど様々な形の表現力を高めるための工夫が示されている。 (5)表・グラフ・図・写真などの資料が、毎時間の学習に偏りなく示され、生徒の資料活用の技能に広がりをもたせる工夫がされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)政治の仕組みについて学習した後で、政治と関連付けながら、私たちの暮らしと経済について指導できる単元構成となっている。 (2)各単元が課題把握、課題追究、まとめといった展開で構成されている。また、本時の導入資料と学習課題も示されているため、課題解決型の主体的な学習を構想しやすく工夫されている。 (3)主教材をより深化・発展的に学ぶことができるよう補助教材が選択、掲載されているため、生徒の学習状況を見極めながら、より多面的・多角的な見方や考え方を育成する指導計画を立てることができる。 (4)本時の学習課題が毎時間毎に表記され、学習活動も「みんなでチャレンジ」「見方・考え方」といった見出しで提供されているので、生徒主体の追究型授業を構想しやすくなっている。 (5)表・グラフ・図・写真などの資料をバランスよく配置し、比較による違いや関係性を考えさせる授業をしやすい配慮がされている。 (6)単元のまとめでは様々な形態の表現活動を例示するなど、生徒に自分の見方・考え方をより豊かに表現させるための工夫が見られる。 | (1)政治の仕組みについて学習した後で、政治と関連付けながら、私たちの暮らしと経済について指導できる単元構成となっている。 (2)各単元に「学習の見通し」が示されているので、単元展開の構想を立てやすい。また、単元の最後には「次章の学習へ」も設けられ、単元と単元のつながりを生徒にわかりやすく提示することができる。 (3)表現力を高めるための「言葉で伝え合おう」のコーナーが設けられ、ディベートやシミュレーションなど様々な形態での学習方法が示されているので、発展的な学習場面として活用しやすくなっている。 (4)本時の学習課題が毎時間毎に表記され、「確認!」「表現!」のコーナーで基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力育成のための学習活動が具体的に示され、授業準備がしやすい。 (5)表・グラフ・図・写真などの資料をバランスよく配置し、資料を読み取らせながら考えさせる授業を構想しやすい配慮がされている。 (6)単元のまとめでは、単元を通したテーマに対する見方・考え方を振り返る問いが設定され、生徒の深い学びを確認しやすくなっている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとまりを重視した紙面構成となっているため、導入・展開・まとめといった課題追究型の学習を連続して提供することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入とまとめを大切に構成となっているので、テーマに対する自分の見方・考え方の深化をより実感できる授業が行える。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学ぶ課題追究型の学習を、教科書のどの部分でも常に提供できる構成となっており、生徒がより深く社会的事象について理解するための学び方を身につけられるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各単元のテーマ(問い)に対して、自分の見方・考え方がどのように深化したのかを振り返るための学習活動が必ず設定され、生徒が深い学びを実感できるよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 帝国書院（社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して） | 日本文教出版（中学社会 公民的分野） |
|---------------------------------------|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 各章の導入で社会のしくみがよくわかるイラストを設け、学習内容が暮らしとどのように関連するのを見通せるよう配慮されている。 資料活用の技能を身につけ、見方・考え方を交流し合える課題が本時で設けられ、思考・判断・表現の力を育成しやすく配慮されている。 社会参画への意識を高めるための特設コーナーを適宜設け、現代社会の課題解決に主体的に取り組もうとする生徒の育成に配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の形成に向けて、主体的に考える力や何を学び、どう深めていくかを身につけるように配慮されている。 社会的な見方・考え方を働かせ、持続可能な社会の実現に向けて、自ら考察できるよう配慮されている。 身近な社会的事象を取り上げ、生徒が学習課題を主体的に解決しようとする態度を養うよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 | <ul style="list-style-type: none"> (1)見開きの上段部分には、核となる資料がワイド写真、場面構成を工夫したイラスト等で掲載され、生徒の関心を高める配慮がみられる。 (2)「アクティブ公民」の特設コーナーを各単元に設け、既習内容をふまえて社会に見られる課題をさらに深く追究できる工夫がみられる。 (3)各章の最後に知識理解と思考力・判断力・表現力を評価できるまとめを掲載し、自分の学習の定着を実感できる配慮がみられる。 (4)「技能をみがく」では「ロールプレイング」「KJ法」などの取り組み方が紹介され、技能や表現力を高めるための工夫がされている。 (5)表・グラフ・図・写真などの資料が、毎時間の学習に偏りなく示され、生徒の資料活用の技能に広がりをもたせる工夫がされている。 | <ul style="list-style-type: none"> (1)見開き2ページに授業内容がまとまり、「問い」をもとにした追究、終末では「確認」をもとにした考察ができるように配慮されている。 (2)「学習の始めに」でマンガを用いた導入で意欲・関心を高め、「アクティビティ」で思考・判断しながら、学びを深める工夫がされている。 (3)編末には「チャレンジ公民」「シンキングツール」があり、まとめ方や見方・考え方を使い考察・構想できるよう工夫がされている。 (4)「問い」に対する「見方・考え方」が示され、その視点をもとに調べ、多面的・多角的に考察し、判断するよう配慮されている。 (5)本文はUDフォントが使用されたり、CUDの観点から情報を正確に読み取れるよう配色されたりと使いやすいように配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い | <ul style="list-style-type: none"> (1)政治の仕組みについて学習した後で、政治と関連付けながら、私たちの暮らしと経済について指導できる単元構成となっている。 (2)各部の最初にある「学習の前に」では、誌面いっぱいのイラストで社会のしくみを表現している。そのイラストの読み取らせ方を工夫することで、単元全体を見通した導入場面を構想しやすくなっている。 (3)「アクティブ公民」の特設コーナーを活用して教材化することで、生徒が習得した知識や技能を活用して、より深く社会的事象に対する思考力・判断力を高めていける授業を提供しやすく工夫されている。 (4)本時の学習課題が毎時間毎に示され、課題把握や課題解決のための資料も、具体的な学習活動と一緒に掲載されているので、教科書そのものを教材として活用した授業づくりができるよう配慮されている。 (5)表・グラフ・図・写真・イラストなどの資料を精選し、核となる資料を大きくすることで、追究のポイントが明確になっている。 (6)知識の定着と思考力・判断力・表現力の高まりを確認できるよう、各単元が同じ形態でまとめられているため、評価がしやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> (1)生徒が持続可能な社会を形成する意識を育むために、巻頭に「SDGs」を示し、各編の学習内容と関連付けするよう配慮されている。 (2)学習課題に対する「見方・考え方」の視点を示し、学んだことをもとに編末の発展課題で活用するよう工夫されている。 (3)「アクティビティ」「深めよう」というコーナーでは、資料の読み取りや協働学習など、どのように学ぶのかが示されている。 (4)主権者教育など、生徒の身近にある題材や課題が挙げてあり、社会に対して主体的取り組みを促すよう配慮されている。 (5)生徒の日常生活と関わりのある教材や抽象的な事象を具体的にイメージできる図版が掲載され、難しき補う配慮がされている。 (6)授業の終末では、学習課題に対する内容を確認するコーナーがあり、1時間の学習を丁寧に戻す配慮がされている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元で具体的な学習活動が提示された構成となっているため、様々な技能を身につけながら、より深く課題を追究する授業づくりができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習課題解決の見通しを持たせながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図れるように工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元で、現代社会における課題と課題追究のための具体的な方法がわかりやすく示され、生徒の深い学びを、様々な形で実現できるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会参画にかかわる教材を豊富に掲載し、生徒が社会的事象の諸問題に対して見方・考え方を働かせ、追究し、解決する構成となっている。また、「どのように学ぶか」を具体的に示す配慮がみられる。 |

| 採択基準 | 発行者名 自由社（新しい公民教科書） | 育鵬社（[最新] 新しいみんなの公民） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会参画にかかわる態度が育つよう、大事な部分をくり返し学習し、段階的に学ぶことができるよう配慮されている。 ・社会的事象に対して、多面的・多角的に考え、考えたことをまとめ議論し、表現力を高めるよう配慮されている。 ・よりよい社会の実現に向けて、生徒が主体的に考え取り組んでいくことができるように配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的・地理的分野で学んだことを活かし、現代社会の問題に対する調査をし、まとめることができるよう配慮されている。 ・学習内容と社会とのつながりを感じられる教材を大事にし、物事を多角的・多面的に考察するように配慮されている。 ・持続可能な社会の形成者として、社会に参画できる資質・能力を育てるために、社会事象を自分事として考えるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等】 | <ol style="list-style-type: none"> (1)見開き2ページに1時間の授業内容がまとまり、追究する課題を明確に示す工夫がされている。 (2)各章に「もっと知りたい」という資料があり、生徒が学びながら、新たな視点に出会い、学ぶ意欲が高まるよう工夫されている。 (3)各章の終末にある学習のまとめは、生徒が自ら基礎・基本を確かめたり、復習したりすることができるよう工夫されている。 (4)各章の中にある「アクティブに深めよう」で、生徒が思考・判断しながら、表現することについて学べるように工夫されている。 (5)導入にかかわる資料が複数掲載され、見やすいように大きくしたり、調べやすいように配置されたりしている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)生徒が1時間の授業で見開き2ページの学習内容を段階的に学ぶことができるように、バランスよく教材を配置している。 (2)各章に「入り口」「これから」というページがあり、各章で学ぶ内容が実生活とどうつながるか、考えられるように工夫されている。 (3)「やってみよう」で、考えたり話し合ったりする活動を通して、主体的に考え、判断し、表現することができるように工夫されている。 (4)「学習を深めよう」でさらに学習の視点を広げることで、基礎的な知識や技能・表現が伸びるように配慮されている。 (5)図版資料に通し番号があるので、教科書の本文に書かれた文との関連が見やすく分かりやすいように配慮がされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価】 | <ol style="list-style-type: none"> (1)現代社会の諸問題から、個人、家族、国家、国際社会へとかかわりを広げながら、基礎・基本を大事に学ぶ配慮がされている。 (2)1、2年次に学習した内容から単元が始まることで、生徒が興味・関心をもって学習することができるよう配慮されている。 (3)「ミニ知識」というコーナーが様々な視点から多数用意されており、生徒が発展的な学習をする上で工夫されている。 (4)授業のはじめに学習課題が示され、用意された資料をもとにしながら、生徒が自ら課題を解決するように工夫されている。 (5)資料「もっと知りたい」では、生徒が学習したことをもとに、より主体的に思考・判断することができる工夫がされている。 (6)「学習のまとめと発展」では、基礎的な用語の定着が図られたり、課題を記述させたりするといった工夫がみられる。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)身近な題材から学ぶことができる単元の配置がされ、生徒が興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 (2)各章のはじめに「入り口」というコーナーがあり、この章で何をどのように学んでいくか、見通しがもてるように配慮されている。 (3)「やってみよう」のコーナーを活かし、話し合いや将来予測などをし、多角的・多面的に考察できるよう配慮されている。 (4)課題をつかむ「吹き出し」や資料を読み取る視点を明確にし、主体的に課題に向き合うように工夫されている。 (5)持続可能な開発目標の17のゴールを一覧できる資料を掲載し、章ごとの学習における関連性を示すなどの工夫がみられる。 (6)章末の「学習のまとめ」では、基礎的な知識の定着を確認したり、言語活動を通して学びが深まったりするよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民学習のはじめに、自分と社会との関わりを認識することを大事にし、生徒が主体的に取り組むことができるように配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題と自分が向き合うことができる内容があり、公民的な資質の形成ができるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象を自分事としてとらえる構成がされていたり、学習のまとめを長文で説明する活動があったりと、生徒の公民的資質を高める配慮がされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって身近な課題を様々な視点から考察できる資料を使いながら、問題解決型の学習ができる。また、授業終末では、ポイントを絞ったまとめがあり、生徒の学びを支える配慮がされている。 |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい社会 地図） | 帝国書院（中学校社会科地図） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・地図だけでなく写真やグラフなどの資料を豊富に掲載し、課題を追究したり解決したりする活動に対応できるよう工夫されている。 ・SDGsや現代的な諸課題についての資料を大きく掲載し、国際社会に主体的に生きる資質・能力の基礎を育成できるよう工夫されている。 ・教科書の内容を補完する資料を掲載し、教科書に代わる役割も果たせる構成となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の地図と多様な資料、情報を掲載し、幅広い知識や教養を身に付けられる。 ・地図や資料の活用例を示し、地域的特色について調べたり発表したりしやすいように配慮されている。 ・鳥瞰図や写真、デジタルコンテンツ等により、地域的特色に興味・関心を持ち、進んで調査・発表できるように工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)基本資料やテーマ資料では、情報量を絞り、地域的特色が読み取りやすいよう工夫されている。 (2)地域ごとにテーマ資料を豊富に掲載し、課題追究の場面では教科書での学習内容をもとに学びを広げられるよう工夫されている。 (3)地図はもちろん、写真やグラフも大きく掲載し、配色やコントラストが鮮明で生徒にとって読みやすいよう工夫されている。 (4)地図や統計資料が最新であるだけでなく、SDGsや現代的な諸課題に関わる資料を掲載し、最新の情報を理解しやすいよう工夫されている。 | (1)地名や地域区分を明確に示し、各国の産物を2～3個程度のイラストで示し、地域的特色が読み取りやすいように工夫されている。 (2)ページに多様な地図や資料を掲載し、「地図活用のコーナー」に活動例を示したり、日本の都市の詳細な地図も掲載したりするなど多様な学習に対応できるよう工夫されている。 (3)サイズをA4番に拡大したことで、地方ごとの地図の範囲や資料が大きくなり、統計のページでは、上位の項目の数字を色分けするなど識別しやすいよう配慮されている。 (4)見開き2ページの中に関連する地図や資料を配置して、地域的特色を理解できるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)基本的に、一般図→基本資料→テーマ資料の配列で構成しており、生徒が調べやすいよう工夫されている。また豊富なテーマ別資料は、各学年の単元展開に効果的に活用できるよう配慮されている。 (2)テーマ資料は、関連する資料を並べて掲載したり、参照ページを示したりして、社会的事象と関連的に考察できるよう配慮されている。 (3)SDGs、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題など世界が抱える現代的諸課題や、災害・環境問題、人口問題、資源・エネルギー問題など日本が抱える諸課題について、理解を深められるよう工夫されている。 (4)日本と世界の関係を示す歴史的地図や写真、資料を掲載したり、各時代の歴史舞台の写真に掲載したりして、歴史や公民の学習指導にも活かせるよう工夫されている。 | (1)気候と農業や、地域によって異なる工業の様子など、地域ごとに中核となる事象に沿って地図や資料を配置し、授業の展開に沿ってそれらが効果的に活用できるように配慮されている。 (2)どの地域も、地図の次に資料が来るように構成し、関連する地図や資料を同じ縮尺で表し、統計資料は巻末にまとめて掲載することで比較しやすく、関連付けて考察できるよう配慮されている。 (3)巻末の統計資料や環境問題などのページでは、世界の抱える諸課題や日本の防災や観光に関する課題を掲載し、最新の社会的事象や課題について考えられるように配慮されている。 (4)多様な地図や資料を見開き2ページ内に収め、活用例を「地図活用」で示し、日本の都市の詳細な地図も掲載することで、体験的な学習や調査にも対応できるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・地図とともに豊富な資料を掲載し、学習が深められる。また、地理や歴史、公民に関する地図や資料を掲載し、3分野を関連付けて学習ができるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習で役立つ二次元コードが適宜示され、端末を利用することで動画、統計資料、写真資料などが活用できるように配慮されている。 ・すべての生徒にわかりやすいように、UDフォント、カラーレイアウトなどが工夫されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書とのリンクが考えられており、地理、歴史、公民の3分野を豊富な資料で関連づけて学べるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・A4判の大きさとユニバーサルデザインで見やすく、情報が読み取りやすい。また、統計資料もわかりやすく、歴史・地理などの分野に対応しており、地図帳を使って多様な学習ができるように工夫されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい数学） | 大日本図書（数学の世界） |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・典型的な考え方が分かる板書例や誤答例がある構成、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。 ・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、考察する力や表現する力が高まりやすいよう工夫されている。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度や数学的な見方・考え方を活用する態度が養えるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能が身に付けられるように、既習内容と関連させ、繰り返し学習ができるよう配慮されている。 ・数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力が身に付けられるよう配慮されている。 ・数学を学ぶよさ、考え方の多様性を実感し、よりよく物事を解決していく態度を養えるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)多様な考えで解ける問題を扱った後に、具体的にノートにまとめる例を示すことで、発達段階に応じて思考力・表現力を高めるよう配慮されている。 (2)身の周りの事象から問題を見出し、その問題の解決に向け、習得した知識・技能とこれまでの生活経験に基づいて数学的な見方・考え方を働かせる必要感を引き出すよう配慮されている。 (3)「深い学び」のページで、日常事象の問題解決のために数学化する学習活動の流れが学習者に分かるよう構成されており、主体的に学習に取り組みやすく工夫されている。 (4)基本的な内容の理解を確実にしたり問題解決で生かした「見方・考え方」が他の問題の解決で生かしたりするよう配慮されている。 (5)色覚特性に適應するカラーユニバーサルデザインや見やすく読み間違えにくいUDフォントを使用し、分かりやすく読みやすい紙面になるように工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)導入で日常生活、社会や他教科と関連させた問題が多く、数学と身の回りの事象と繋がりが感じながら学習できるよう配慮されている。 (2)文字を利用して性質を説明する活動では、複数の考え方や表し方を読み取り、それを比較検討して、数学的な思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮されている。 (3)数学的な表現を使った生徒同士の話し合いの様子を示し思考の視点を焦点化し、表現力、コミュニケーション力が高まるように工夫されている。 (4)補充問題では「プラスワン」などを利用し、個々の理解に応じた問題を行い、知識及び技能の習得が図られるよう配慮されている。 (5)4色刷りやUDフォント、学習の流れが捉えやすい紙面構成、効果的な写真や実際の資料で、興味・関心が高まるよう工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)各章のとびらにおいて、育成をめざす数学的に考える資質・能力が明確になるよう工夫されている。 (2)小単元後の「学びを振り返ろう」では、これまでの学習を振り返り、学びの自覚を促すような工夫が見られる。 (3)生徒のイラストの会話や各章の利用の題材が、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学習活動を促し、深い学びが具現されるよう配慮されている。 (4)単元の扉にあるキャラクターのカラーのイラストにより学習への興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 (5)シミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを提示したり、つまずく生徒にヒントとなる言葉を示したりして、生徒の問題理解や追究に生かせるよう工夫されている。 (6)「黒板ボード」のイラストや口の囲み、「虫眼鏡マーク」で基礎的・基本的な知識や問題解決で働かせた大切にしたい見方・考え方が明確になるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)巻頭で「問題発見・問題解決の流れ」「数学的な見方・考え方」を示すことで、学習活動や身に付けるべき資質・能力を明らかにし、深い学びの実現に繋がるよう配慮されている。 (2)各小単元で学習の「めあて」を示し、追究内容や方法を明確にして追究ができ、既習を生かした解決の仕方を学べるよう配慮されている。 (3)「たしかめよう」では基礎的・基本的な定着問題、「プラスワン」「力をのぼそう」などではより発展的な問題を扱い、個に応じた指導ができると共に学習者自ら主体的に取り組めるよう配慮されている。 (4)学習に関連した読み物や数学を社会で活用している方の紹介から、興味・関心を高め、数学のよさや有用感をもてるよう配慮されている。 (5)シミュレーション、動画などのコンテンツやコラム等により、生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習を進めていけるよう工夫されている。 (6)「ふり返ろう」では、理解の確認や学習したことのよさに気付くことを促す質問があり、学びの振り返りや数学的な表現を用いたコミュニケーション力を伸ばせるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決の過程を充実させ、知識及び技能が身に付き、思考力・判断力・表現力等が高まるよう工夫されている。 ・問題解決で働かせる見方・考え方を引き出し、意識付ける工夫をし、見方・考え方が豊かになるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決プロセスが明示され、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決ができるよう配慮されている。 ・自分の考えを表現する時の抵抗感を減少させるために、結果が得られた根拠を明確にすることの重要性を理解できるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <p>学習者の学習意欲を高めさせ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。そのために必要な知識や技能が習得できるように構成され、共同的に学習することで深い学びに繋がれるように工夫されている。</p> | <p>数学を活用して活躍している方の紹介等、キャリア形成の側面からの学習意欲や向上心を沸き立たせるように考慮されている。また、基礎的・基本的な知識や技能の定着を促し、意欲的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 学校図書（中学校数学） | 教育出版（中学数学） |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を高めるために、既習内容と関連させながら学習に取り組めるよう配慮されている。 ・既習内容をもとに、数学的活動を通して数理を見出し、統合的・発展的に考察することで、思考力・表現力を高めよう工夫されている。 ・日常生活や社会の事象の場면을数学的にとらえることで、数理を活かそうとする生徒の主体的な態度が育成されよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい事象の解決に必要な既習の知識及び技能が活用できるよう配慮されている。 ・数学的事象を日常生活や社会の事象と関連させながら、数学的活動を通して、思考力、表現力が育成されるよう配慮されている。 ・日常事象を数学化し生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとする力が育つよう工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)解説が明記された解答例があったり、新たな数理を学ぶ際の見方・考え方が記されたり、理解の手助けになるよう配慮されている。 (2)キャラクターが予想される生徒の疑問を示したり、問題解決の見通しを示したりして、意欲をもたせるよう配慮されている。 (3)導入や利用の場面では身の回りの事象を数学と関連させ、数理を見出し、数学化することで、必要感をもちながら学習できるよう工夫されている。 (4)既習事項を振り返られるよう示したり、どんなことがわかったか振り返りを設定したりすることで、定着されるよう配慮されている。 (5)目に優しい配色がされ、色の違いだけでなく矢印等の記号で判断できるよう示され、ユニバーサルデザインが工夫されている。 | (1)多様な見方をする際の着眼点を折り込みや各所で表記することで、常に意識しながら学習を進めることができるよう配慮されている。 (2)項ごと課題解決への学習活動の流れを示し、数学的活動を通して得た数理の発見を実感できるよう配慮されている。 (3)日常生活の事象を数学化して捉え、つけたい力を示したり、主体的・対話的に学習できるようにしたりと、必要感をもちながら数学的活動ができるよう工夫されている。 (4)各章の学習の前に振り返りたい事項が示されたり、補充問題が示されたり、個々に応じて取り組みやすい配慮がされている。 (5)中心的な内容と補足的な内容を区別できる紙面デザインになっていたり、興味をひくイラスト、キャラクターが用いられていたり、生徒の関心・意欲が高まる工夫がされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)各項につけたい力の目標が示され、その力をつける例題や問題、振り返りができるよう、一貫性のある構成となるよう配慮されている。 (2)基礎的・基本的な内容の習得に必要な既習事項や「ふりかえり」を記載したり、適用問題を用意したりするなど配慮されている。 (3)8つの数学的な見方・考え方を適宜示し、問題解決に向けて思考の流れを整理し、統合的・発展的に考えられるよう配慮されている。 (4)「Tea Break」や章末の活用、「深めよう!」、巻末の「疑問を考えよう」などの教科横断的な課題を設けることで、個に応じた指導で活用できるよう配慮されている。 (5)日常から写真を取り上げたり、動画コンテンツが活用できたり、用語由来のコラムがあったりと指導に生かせるよう工夫されている。 (6)項ごとの「どんなことがわかったかな」と章末ごとの振り返りで、生徒の学びの自覚が促されるように工夫されている。 | (1)既習事項と関連・活用させながら、論理的に解決したり、日常生活で数理を活用できたりする配列になるように工夫されている。 (2)各単元で日常生活の事象から導入を行い、既習の定着を図る定着問題や節ごとの振り返り、誤答例を出すなど、生徒個々の学習状況に応じた配慮がされている。 (3)キャラクターの会話や各章の利用の題材を通し、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学習を促し、課題解決力の深まりを実感できるよう配慮されている。 (4)対話活動を仕組む問題や、各章末に既習内容を活用させる問題があり、個々の生徒に応じた学習に生かせるよう配慮されている。 (5)数学用語の索引が英語でも記載されたり、「学びのマップ」で振り返り学習ができたりと、個々の学習に生かせる工夫がされている。 (6)章末で単元の学習内容が振り返られるとともに、評価規準を示した章末問題によって、生徒自ら自己評価できるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・見出した数理の関係を説明させたり、日常事象を数理を用いて解決する意欲を引き出したりし、生きる力を養えるよう工夫されている。 ・問題解決や新たな数理の発見に必要な見方・考え方を意識させ、主体的に解決する力が身に付けられるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めに既習内容の確認、章末に学習のまとめや振り返りがあり、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。 ・多くの日常場面から数学的事象を見出し、課題解決することで、数学の実用性や学ぶ良さを実感できるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | 日常生活から数理を見出し、既習事項を用いながら段階的に考察されるよう構成することで、数学的に考える資質・能力が育成されるよう工夫されている。また、日常事象を数学化し対話的に学習ができるように配慮されている。 | 既習とのつながりを大事にして、身の回りの事象や数学的事象を解決させることで、意欲的に数学的に考える資質・能力が育成されるよう配慮されている。また、練習問題や振り返りなどの配置を工夫し、生徒が自己評価をしやすいうように配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 新興出版社啓林館（未来へひろがる数学） | 数研出版（これからの数学／探究ノート） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学を生活や学習に生かすために、身のまわりの問題を発見解決しながら、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう配慮されている。 ・数学的に考える資質・能力を育むため、広げ・深めやすい場面設定をし、見方・考え方を働かせて考えられるように工夫されている。 ・数学を積極的に活用しようという態度や問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとする態度を培えるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習の振り返りを基に、基礎的・基本的な内容を習得できるよう配慮されている。 ・登場人物の対話を多く用いて、数学的な見方・考え方を可視化し、生徒自身が見方・考え方を深めていけるように配慮されている。 ・他教科と関連する題材を通して、生徒の興味・関心を喚起し、数学を生活に生かそうとする態度を養うよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)「話しあおう」では、考えを伝えあう中で多様な考え方を知らることができるように配慮されている。 (2)問題発見・解決の過程を段階に分けて示すことで、自分から問題を発見し、解いた問題をさらに発展できるように配慮されている。 (3)問題場面に身近な場面が多く設定されており、生徒が実生活とつなげながら主体的に学習したり、生活の中で数学を活用したりすることができるように工夫されている。 (4)章末に「学びを身につけよう」巻末に「力をつけよう」が設けられ、生徒が進んで知識や技能を定着できるよう配慮されている。 (5)UDフォントを利用したり、配色や行間や余白などを配慮したりして、様々な生徒が内容をとらえやすくなるように工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)問いかけの文章を丁寧にしたり、場合分けが必要な問題を扱ったりするなど小学校との接続や高等学校との接続に配慮されている。 (2)生徒や教師の対話内容を考えることで、学習の見通しをもつとともに、明瞭・簡潔・的確に自分の考えを表現する力が身につくように配慮されている。 (3)「数学旅行」として、日常の中で数学が用いられている場面が紹介されており、生徒の意欲や学習に生かそうとする態度を養えるよう工夫されている。 (4)各章の「ふりかえり」で、既習内容の振り返りや知識の確認ができるように配慮されている。 (5)すべての生徒が使いやすいよう、配色やフォントを工夫している。重要な用語や新しい言葉などに注目できるよう視覚的にわかりやすいように工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)表紙横開きと裏表紙縦開きの2部構成とし、生徒の個性に応じて学習が進められるように配慮がされている。 (2)具体的な例が豊富に示され、生徒の思考を意識して具体から抽象へと学んでいけるよう工夫されている。 (3)身近な場面で導入し、主体的・対話的に追究できるようにしている。また、解決のために使った数学的な見方・考え方をページの最下段に「虫眼鏡」で表記し、言語化して振り返れるよう工夫されている。 (4)「学びをいかそう」では、学習した内容と関連した、数学を活用する場面が多く用意され、他教科や社会との結びつきや数学のよさを実感できるように配慮されている。 (5)統計ツールや紙面で表現できない動きを動画で準備し、QRコードをページ中に配置することで、活用しやすいよう工夫されている。 (6)「学びをたしかめよう」では、問題設定と関連ページを示すことで、生徒・指導者それぞれの立場で評価に役立つよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、系統的に学習できる教材の配列となるように配慮されている。 (2)「ふりかえり」では、新しく学習する単元に必要な既習事項を確認できるようにし、基礎的・基本的な知識及び技能が身につくよう配慮されている。 (3)登場人物の対話から見方・考え方を働かせて考え、見通しをもち論理的、統合的・発展的に考えることができるよう配慮されている。 (4)「発展」で、その学年での学習範囲を超えた内容が配置され、系統的な流れの中で発展的に考えられるように配慮されている。 (5)関数や図形、統計データを視覚的に捉えることができるコンテンツが用意され、生徒の理解へとつながるように工夫されている。 (6)巻末の練習問題等で、自分で学んだり学び合ったりして身に付けた力を確認できるような配慮がされている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場面で数学を用いて考える問題が多く設定されており、数学を学ぶ有用感や活用する楽しさを感じながら自分の学びを広げられるように工夫されている。 ・数学的な見方・考え方を働かせながら行う数学的活動を通して、主体的に学習する態度を養うことができるように工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各単元での理解がスムーズになるように、復習すべき内容が押さえられており、基礎的・基本的な知識が定着するように配慮されている。 ・デジタルコンテンツが豊富に用意されており、視覚的に理解できるように配慮がされている。 |
| 5 総合所見 | <p>数学を現実世界と結び付け、身近に感じられる場面での学習を通して主体的に学習する態度を養いながら、知識・技能を身につけられるように工夫されている。また、数学的活動を通して、数学の有用性を感じながら思考力・表現力・判断力等が育まれるよう工夫されている。</p> | <p>小学校や高校との接続を大切にしながら、身近な題材を扱うことで学習意欲が喚起され、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫されている。また、学んだことを深められるよう構成を工夫し、思考力・判断力・表現力等が身につくよう配慮されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 日本文教出版（中学数学） | |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習の基礎的・基本的な知識や数学的な表現をもとに、複数の考え方が示され、数学的な見方・考え方を育成できるよう配慮されている。 ・適切な表現方法で、筋道を立てて説明し合う学習を設け、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう配慮されている。 ・学習のめあてや例題の意図を明示することで、生徒が目的意識をもって主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)一つの問題から生徒の多様な考え方が生かせる学習活動を設定しており、発達段階に応じる学びができるように配慮されている。 (2)身近にある事象を取り上げることにより、学習意欲を高め、数学と日常生活のつながりが意識できるように配慮されている。 (3)「話し合おう」「学び合おう」の場面では、問題解決学習の流れが明示されていて、他者との学びが深められるように工夫されている。 (4)「間違えやすい問題」「+チャレンジ」「発展」「補充問題」にある追加問題により、問題数が多く、理解度に差がある生徒がそれぞれに理解を深めることができるように配慮されている。 (5)文字のフォントが見やすく、行間も字の大きさも適度であるため、見やすい。学びのポイントや問題場面をイメージできるイラストがあり、生徒の学びに窮屈さを感じさせないよう工夫されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)各単元において、既習内容を活用させながら論理的に問題解決でき、生活に生かせる流れを意識できる配列になるよう工夫されている。 (2)各単元で、単元に関連する既習内容を振り返る場面が設定され、前学年の教科書での振り返る単元やページが記されており、つながりを意識できる導入場面になるように配慮されている。 (3)数学的な見方・考え方が明示されており、意図的に問題を振り返る場面設定があることで、論理的、総合的・発展的に考える力がつくように配慮されている。 (4)補充問題や発展的問題が豊富で、生徒が主体的に学習に取り組む態度や、個に応じた指導に生かせるように、また、他者と協働する力を養うことができるよう配慮されている。 (5)「マイトライ」「WEB」「さくいん」「対話シート」等、学習内容の理解を深めるための、教材研究や準備がしやすいよう配慮されている。 (6)「めあて」「考えよう」「やってみよう」などの見出しがあり、指導や評価が明確になるように工夫されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な基礎的・基本的な内容の習得を図ることができ、それらを生かして思考力を高めることができるように配慮されている。 ・生徒が主体的に学習に取り組めるような構成に配慮されている。 | |
| 5 総合所見 | 指導や評価のポイントが明確になるように構成し、生徒の学びを見やすくするよう考慮されている。また、多くの問題を掲載するなど、生徒が個に応じ主体的に学習を進めることにより、基礎を固めながら、思考力を高められるように配慮されている。 | |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい科学） | 大日本図書（理科の世界） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | 生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって実験・観察し、結果を分析して解釈する主体的な探究活動ができるよう配慮されている。 | 理科を学ぶ意義や有用性を感じながら興味関心を高めることを通して、学びに向かう力を涵養するように配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)各章・各節の導入では、生徒の気付きや疑問が生じる問いと知的好奇心を刺激し興味関心を高めるための写真資料等を配置することにより、主体的な探究活動を動機づけるよう工夫されている。 (2)思考する場面对話例や注釈を効果的に位置付け、生徒のつまずきへの支援や対話活動の活性化を促すような工夫がなされている。 (3)興味・関心を喚起するための写真・イラストや理解を助けるための効果的な図解が多く掲載されている。 (4)生徒にとって理解が困難な内容について紙面を割き、図解入りで丁寧な解説を施してあるとともに、理解しやすい簡潔な文章表現で記述されている。 | (1)実験・観察の手順をコンパクトに写真と図を使って明示しており、実験・観察の見通しがもちやすく、操作も参考にしやすい。また、色使いやコントラストも派手すぎず見やすいように配慮されている。 (2)実験のページには目的に沿った考察ができるように「考察のポイント」を提示してある。また、次のページには、結果とその解釈の例を示してあるため、考察のまとめ方を学ぶことができるように配慮されている。 (3)巻末には「探究の進め方」「レポートの書き方」のページが特設されており、理科の見方・考え方を働かせながら探究する方法とその活動のまとめ方がわかりやすくまとめられている。 (4)各単元末には探究活動（「課題をみつけて探究しよう」）を位置づけてあり、問題発見から振り返りまでを学んだことを生かしながら生徒が主体的に探究できるように配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)各単元の指導順序を入れ替えて扱っても支障がないように、関連する学習内容の掲載個所を示してあり、多様な指導計画にも対応できるように配慮されている。 (2)問題発見、課題設定、仮説の練り上げなどの場面では、働かせる理科の見方・考え方が示され、科学的に問題解決の過程を歩むことができるよう配慮されている。 (3)結果の見方や考察のポイント、課題に対する結論をまとめる際のキーワードが示してあるなど、結果を分析して解釈する際に思考・表現活動が円滑に進められるよう配慮されている。 (4)いずれの小単元においても問題発見から結論のまとめまで探究的な学習が展開できるように構成されており、授業者にとっては授業構想が立てやすい。 (5)学んだことを身近な自然事象に関連づけて考えたり、発展的な学びにつなげたりするためのコラム欄や問いが豊富に掲載されており、理科を学ぶことの意義や有用性を感じられるように配慮されている。 | (1)単元の配列が実験・観察に適した時期になるよう工夫されている。また、他学年の実験・観察の器具が重ならないように配慮されている。 (2)単元の冒頭には、各章の大きな学習問題が掲載されていたり、「これまでに学習したこと」を「これから学習すること」と関連付けて掲載したりして、学習の見通しが持てるように工夫されている。 (3)単元末には「探究活動」「自由研究にチャレンジしよう」「単元末問題」「読解力問題」を配置し、学んだことを活用して考え、表現力や思考力が育まれるよう工夫されている。 (4)少量の薬品で行うことができるマイクロスケール実験を扱っており、安全面、環境面に配慮されている。 (5)つまずきそうな問題には例題と解き方を解説し、章ごとに「読解力問題」と「章末問題」を配置し、知識・技能の定着や思考力・表現力の高まりが確認できるように配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成とのバランスがよく、生徒が興味関心をもって主体的な探究活動できるよう工夫されている。 | 身の回りの自然事象への興味関心をもてるような写真や図が多数掲載されており、理科に親しみがもてるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 新しい学習指導要領で重視されている内容のほとんどすべての事項に配慮された構成となっており、生徒の科学的探究力を育成することができるように工夫されている。 | 問題解決の楽しさを抱かせることを重視するとともに、自然事象への興味関心を高め、学習したことを身近な生活につなげて考えさせる場面を多くして学びに向かう力を育てることに配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 学校図書（中学校科学） | 教育出版（自然の探究 中学理科） |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | 生徒が1時間ごとに理科の見方・考え方はたらかせながら科学的に問題解決しているように配慮されている。 | 身近な自然事象に対する疑問から学習が展開されることを重視するなど、生徒の思考の流れに沿った構成に配慮している。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等】 | (1)各単元冒頭に「ふり返ろう・つなげよう」、本文中に「ふりかえり」を掲載し、既習事項とこれから学ぶこととの関連性や系統性が意識できるよう配慮されている。 (2)全ての授業時間ごとに、はたらかせる見方・考え方の例をページ右上部に掲載しており、科学的な思考をはたらかせながらの探究活動となるように配慮されている。 (3)キャラクター（教師と複数の生徒）による対話例や巻末のホワイトボード紙面で対話活動を活性化するように工夫されている。 (4)実験・観察の手順を解説する欄はすべて実物写真で示し、実際の器具や操作と比較しやすくなるよう配慮されている。また、実験上の注意が赤と黄色で目立つように記載されている。 | (1)探究型の授業が効果的な場面では、「疑問」「課題」「計画」「観察・実験」「考察」「結論」のように、探究の過程を示し、生徒が見通しをもちながら、主体的に探究活動に取り組めるよう工夫されている。 (2)「ハローサイエンス」「やってみよう」「活用しよう」「発展」などのコラム欄を通して、生徒の興味関心を高めるとともに、身近な生活に結びつけながら理科を学ぶことの意義や有用性に気づかせて主体的に学ぶ意欲がもてるように工夫されている。 (3)実験の方法をステップで分けて示し、準備や追究の見通しがもてるように配慮している。また、実験の注意点を色やマークなどで強調することにより、安全に実験できるように配慮している。 (4)ワイドな紙面を用いることで、多くの写真や図を大きく掲載しても見やすくなるように工夫されている。また、文字も大きく読みやすい。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価】 | (1)習得すべき内容の記述に紙面を多く割いており、教科書自体のコラム欄は少ないが、QRコードを読み込むことでネット上の多様な教材につながり、興味関心を高めるように工夫されている。 (2)全ての授業時間において、はたらかせる理科の見方・考え方の例が示されており、科学的な資質・能力が育まれるよう配慮されている。 (3)探究活動の重点項目は、タイトル色を変えたり記載内容を増やしたりして、重点項目を意識して指導できるよう工夫されている。 (4)1学年の使用する「科学1」の巻頭に「実験室を使うコツ」として、観察・実験の心構えや注意事項を掲載しており、安全面に配慮されている。また、各学年の教科書の冒頭に「理科のトリセツ」という理科の学び方解説を掲載し、年度当初の授業ガイダンスに生かせるように配慮されている。 (5)実験・観察の手順は大きな見開き2ページで示してあって見やすい。また、結果の見方や考察の書き方のポイントとともに、結果や考察の例も示してあり、自学自習にも対応している。 | (1)生徒の興味関心を引くような身近な事象に対する「疑問」から、学びが展開されていることで、学習意欲が喚起されるよう配慮されている。 (2)学習内容のつながりを意識した単元配列が学年を越えて図られているとともに、小・中・高の内容の系統や他教科との関連が図られることで、単元間の関係性や連続性に配慮されている。 (3)計算問題では、例題と答え・解説を示し、練習問題を解くことで考え方を確実に理解し定着するよう配慮されている。 (4)「仮説」を練り上げたり実験の「計画」を立てたりする段階では、キャラクターの対話がヒントとなって友と関わりながら対話的に学習できるように工夫されている。 (5)「やってみよう」や「学習後の私」では、発展的な学習や学んだことの身の回りの事象との関連学習を通して、科学的な思考力、判断力、表現力等の育成につながるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | 毎時間の授業の課題と解決のための見方・考え方を記載してあるとともに、思考を促すためのキャラクターの吹き出しが多く掲載されている。 | 学習がスモールステップに分けられ、見通しをもった無理のない構成がなされ、発展的な学習も進められるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 理科ではたらかせる見方・考え方を重視し、根拠と見通しをもって問題解決学習を進めることを通して科学的探究力を育てることに配慮されている。 | 疑問から課題が設定され、見通しをもって実験・観察が行われるよう工夫されている。また、多くの資料から身近な生活に結びつけながら、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 新興出版社啓林館（未来へひろがるサイエンス） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | 生徒の思考の流れを考慮した課題の「把握」→「追究」→「解決」という学習展開で構成され、探究する力が育まれるよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)小単元の冒頭で、身の回りの事象に対する疑問について予想する場面を設定することを通して、見通しをもって学習できるように工夫されている。 (2)特に探究的に学習を展開することが適切な場面では、「探Qシート」に自分の考えを自由に書き込みながら主体的に探究的な学習が推進できるように工夫されている。 (3)図や写真がページの上部、本文はページの下部にレイアウトされており、生徒にとって読みやすくなるよう工夫されている。 (4)教科書に記載されているQRコードを読み取ると、その場面の学習に関する豊富なコンテンツや動画を視聴することができ、視覚支援や生徒の自主学習の手助けになるよう工夫されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)実験や観察の目的が生徒の思考の流れに沿って無理なく設定されているなど、生徒の疑問や関心、考え方を重視した学習展開になるように工夫されている。また、「考えてみよう」「話し合ってみよう」は、どんな観点で対話的な活動を行えばいいのかを示している。 (2)他の教科や理科の単元間の関連や小学校・中学校・高等学校とのつながりを示すマークが明示されており、単元を越えて興味を広げられるよう工夫されている。 (3)紙面がワイド化されたためカラフルな写真や図が大きく配置され、学びへの意欲を喚起するように工夫されている。また、図解が分かりやすく、生徒にとって難しい内容の理解・習得に配慮されている。 (4)生徒が書きこめる「探Qシート」により主体的な学びを活性化するとともに、思考力、表現力を高められるように工夫されている。 (5)「みんなで解決」やコラム欄など、学んだことを活用して身近な生活上の自然事象につなげて考えを深めるページが豊富に掲載されており、理科を学ぶ意義や有用性を実感するように配慮されている。 | |
| 4 全体的な特色 | 資料性の高い大きな写真や図が豊富に掲載されており、生徒の興味関心を引くように配慮されている。 | |
| 5 総合所見 | 生徒の思考の流れを重視した学習展開がなされるように構成されており、生徒が主体的に課題解決する学びの過程を通して、科学的探究力が育成されるよう工夫されている。 | |

| 採択基準 | 発行者名 教育出版（中学音楽 音楽のおくりもの） | 教育芸術社（中学生の音楽） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | (1)「学びのユニット」により、その題材で学ぶ内容やヒントとなる要素が一目で分かるようにバランスよく示されている。 (2)各教材のページに「学習目標」が示されており、それをもとに、確かな知識や技能を身につけるページが設けられていることで、音楽表現の幅が、より広がるように配慮されている。 (3)巻頭部には、音楽家の肖像画や言葉があり、興味関心が湧くように配慮されている。 | (1)学習指導要領に示された各学年の目標および内容をふまえ、「何を学ぶか」のページに各学年の学習内容、教材が系統立てて配列されている。 (2)「目次」、「何を学ぶか」、「各教材の楽譜」のページに、その題材で主となる音楽を形づくっている要素が示されており、それを窓口にも音楽の見方考え方を働かせながら学習できるように配慮されている。 (3)生活や社会の中の音楽について、更には、エス・ディー・ジーズに関わる音楽について扱われている。社会の中での音楽の大切さや、音楽に関する感性が豊かになるよう工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)「学びのユニット」には、ねらい、曲名、関連曲、学びの手がかりとなる要素などが端的に示されており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができると思われる。 (2)「何が同じで、何が違う?」、「話し合おう」、「音のスケッチ」などのコーナーがあり、学びが深まるように配慮されている。また、生徒自らが音楽の共通性や固有性を考えながら音楽への理解を深められるよう配慮されている。 (3)鑑賞では、多様な音楽が掲載されている。ポイントを押さえた図や挿絵や写真、端的な解説や楽譜の提示など、音楽のよさを、より深く味わうことができるよう配慮されている。 (4)巻頭には、歌唱共通教材の楽曲ゆかりの地が美しいビジュアルで掲載されており、生徒の学習意欲を、より引き出してくれるものと思われる。 | (1)巻頭部の、野村・松任谷・谷川・木下各氏のメッセージは生徒の琴線に触れ、生徒が、自分たちの生活の中にある音楽やこれから接する音楽文化に対し、より豊かに関わろうとするきっかけになるのではないかと。 (2)各学年での学習内容をまとめた「学びの地図」により、生徒が一年間の学習の見通しをもつことができる。明確に示された学習の観点のもと、多様な教材が用意されており、主体的に学ぼうとする意欲を引き出すよう工夫されている。 (3)楽譜、文字、写真、イラスト等、鮮明で見やすく、それらのバランスもよい。また、随所に登場するキャラクターのコメントが、生徒の主体的な学習を促すように工夫されている。 (4)各教材の楽譜には、その曲を特徴付けている音楽の諸要素と、その一覧のページが示されている。生徒はそれらのページを行き来しながら、基礎的な内容を確認できるように工夫されている。さらには、「深めよう！音楽」に示された活動の手順や、鑑賞の観点に沿って学習することで、学んだ内容の理解が深まるような展開や実践への動機付けがなされている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)小学校からの接続を意識し、学習が系統的に進められるように親しみやすい教材や題材が配列されている。 (2)「すすんで学び合おう ACTIVE!」、「比べてみよう」、「深めてみよう」など、一つの教材から派生し、多様な学習ができるように配慮されている。また、キャラクターのコメントがヒントとなり、生徒の活動が活性するように配慮されている。 (3)鑑賞では、楽譜の掲載が充実している。また、同じ作曲家が作曲した別の楽曲に触れたりできる工夫もされており、生徒が興味をもって主体的に学習に取り組むことが期待できる。 (4)「世界や日本の音楽」では楽器や楽曲が詳しく解説されており、生徒が興味をもって無理なく学習できるよう工夫されている。 (5)鑑賞教材など、所々に設定されている「話し合おう」により、他者と意見交換しながら、より深く学ぶ生徒の姿が期待できると思われる。 | (1)学習内容に沿って系統的な学びを意識した題材配列がなされている。「学びの地図」では、各教材を通じて生徒がどのような音楽の力を身につけられるのかがわかりやすくまとめられている。また、教師にとって、1年間の学習計画を立てる際に役立つと思われる。 (2)「深めよう！音楽」のページを手順に沿って学習を進めることで理解が深まるように工夫されている。 (3)「指揮をしてみよう」のように、体験的な活動を通して実感を伴った理解につながるような工夫がなされている。 (4)多様な音楽活動の写真により、幅広い音楽の価値観を学ぶことができ、キャラクターの吹き出しは、生徒の言語活動や協働的な学びの手助けとなるよう工夫されている。 (5)道徳的、人権的な観点に関連付けられる教材や、自然保護や日本文化、国際理解等の観点で関連付けられる教材を取り上げている。 |
| 4 全体的な特色 | (1)「学びのユニット」により、教師も生徒も、より見通しをもって学習を進めることが期待できる。 (2)「比べてみよう」のような比較するページが多く設けられているため、対話的・協働的な学習が期待できる。 | (1)その教材で、どのような内容を学ぶのか、どのような力がつくのか明確に示されており、生徒が見通しをもって学習することができるよう工夫されている。 (2)生活や社会における音楽の役割についてのページや、我が国や郷土の伝統音楽についてのページが充実しており、音楽文化と主体的に関わっていく態度を養うことができるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 「学びのユニット」や、各教材のページの「学習目標」等、教科の目標が配慮されている。生徒が、表現を工夫したり意見交換したりするなどの協働的な学習を通して、より深く学ぶことができるための学習活動への配慮がされている。 | 社会の中の音楽の大切さを学ぶ学習、系統だった題材配列など、教科の目標からの配慮、生徒の学習活動への配慮等工夫されている。生徒が主体的に音楽に向かう力や、音楽的な見方・考え方をより高めていくことができるよう工夫されている。 |

| 採択基準 | 教育出版（中学器楽 音楽のおくりもの） | 教育芸術社（中学生の器楽） |
|--|---|--|
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <p>(1)各楽器を用いて音楽表現するために必要な知識・技能を、無理なく段階的に身につけられるように構成されている。</p> <p>(2)音楽を形づくっている要素を窓口としながら表現に必要な技能を学習できるよう配慮されている。</p> <p>(3)技能の習得だけでなく、「何が同じで、何が違う？」等、いろいろな楽器の特徴を理解したり比較したりするページがあり、幅広い学びができるよう配慮されている。</p> | <p>(1)「学びの地図」には、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに関連する学習内容と教材が、関連度に応じてわかりやすく示されている。</p> <p>(2)各楽器の演奏準備、奏法が詳細に示され、音楽表現をするために必要な技能を段階的に身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>(3)楽器を使つての創作分野の題材も配列し、楽器での表現のおもしろさに着眼し、創意工夫を生かした表現ができるよう構成されている。</p> |
| <p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> | <p>(1)各楽器の歴史、仕組み名称、基本的奏法、姿勢構え等、端的にまとめられている。</p> <p>(2)「学びのねらい」が明記され、「学びのポイント」を拠り所に学習でき、「まとめの曲」で振り返ることができる。生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>(3)難易度が同程度の曲、聴き慣れた曲を配置するなどして、生徒が意欲的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>(4)「何が同じで、何がちがう」「話し合おう」「音のスケッチ」等のコーナーが随所に設定されており、比較する活動を通して生徒が協働的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>(5)様々な楽器を使つてのアンサンブルや創作活動、和楽器を用いてのポピュラーソングの演奏等、多様な音楽活動ができるよう工夫されている。</p> | <p>(1)反田氏のメッセージは、生徒の琴線に触れ、生徒が、自分たちの生活の中にある音楽やこれから接する音楽文化に対し、より豊かに関わろうとするきっかけになるのではないかと。</p> <p>(2)学習内容をまとめた「学びの地図」により、学習内容と教材の関連が一目で分かるようにまとめられている。</p> <p>(3)各教材には、曲名に続いて「学習目標」、「活動文」が明示されており、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」が明確である。更に、「深めよう！音楽」では、主体的・対話的で深い学びを実現するための手だてが示されている。</p> <p>(4)楽器の基礎的奏法が、文章、挿絵、写真等で詳細に取り上げられ、その習得に配慮されている。更に、「演奏のポイント」、「練習のポイント」、「Q&A」、その他、随所に書き込まれた端的なアドバイス等に、具体的な練習の方法や学習の手順、表現のヒント等が示されており、共に、或いは一人となって活動できるよう配慮されている。</p> <p>(5)本教科書のためにオーダーメイドされた用紙は美しく丈夫で、文字、楽譜、写真、図、挿絵等、極めて鮮明である。各楽器の特徴や奏法を生徒がイメージしながら取り組めるよう配慮されている。</p> |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> | <p>(1)リコーダーの運指表が大きく、ギターのコード表が写真とともに掲載されており、とてもわかりやすい。生徒がそれらを参考にしながら学習活動に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(2)和楽器は伝統的な縦譜と横譜（五線譜）の両方が示され、さらに口唱歌も五線譜に歌詞と同列で示されており、学習活動に応じて利用できるよう工夫されている。</p> <p>(3)「Let' Play！」で基礎的・基本的な事項を学習し、「Let' s Try！」で学びを生かしてのアンサンブルの学習や発展的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>(4)「弾く楽器の仲間たち」など、日本や世界の楽器の特徴について比較する発展的な内容を扱うページがあり、学習したことをさらに深められるよう工夫されている。</p> <p>(5)音楽の学習を通して、生徒が我が国や世界の伝統文化に目を向けることができるように「何が同じで、何がちがう」「吹く(弾く)楽器の仲間たち」等のコーナーが位置付けられており、学習活指導への配慮がなされている。</p> | <p>(1)「学びの地図」には、学習指導要領に示された器楽の学習内容と音楽を形作っている要素が示されており、指導計画を立てる上で適切なものとなっている。</p> <p>(2)リコーダーでは、ソプラノリコーダーの楽譜が並列して示され、生徒が小学校での学びを想起しながら、アルトリコーダーにも無理なく取り組めるように配慮されている。</p> <p>(3)和楽器においては、その楽器固有の譜を掲載してあり、特有の譜の読み方について丁寧に解説を加えている。</p> <p>(4)各楽器の基本を易しい楽曲で学んだ後、「アンサンブル」で発展的内容を扱い、学びを生かして対話的に表現を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(5)箏を用いた旋律作りの課題が設定されている。手順が丁寧に示されており、極めて適切なものとなっている。</p> |
| <p>4 全体的な特色</p> | <p>(1)写真、図等が的確で、生徒にとって分かりやすくなるよう配慮されている。</p> <p>(2)器楽の学習を創作や鑑賞の学習と関連付けたり、日本と世界の楽器とを比較したりできる構成になっており、生徒の対話的な学びや深い学びを促すよう工夫されている。</p> | <p>(1)音楽を形づくっている要素を窓口とした学習を軸として、歌唱や創作・鑑賞での学びが生かされるよう構成されている。</p> <p>(2)演奏家の写真やメッセージに加え、楽器の演奏場面を掲載し、生徒が楽器に興味をもったり生活や社会における音楽の役割を意識したりしながら学習できるよう工夫されている。</p> |
| <p>5 総合所見</p> | <p>「学びのねらい」、「学びのポイント」を踏まえた「まとめの曲」が配列されており、「Let' Play！」で基礎的・基本的な事項を学習し、「Let' s Try！」で発展的な学習に取り組めるよう構成されている。生徒にとって、段階的に学習できるように配慮されている。</p> | <p>教材の量が適切で、各教材を通しての学習内容が明確に示されており、活動の具体的なヒントがわかりやすく示されている。生徒の主体性を引き出し、生徒が意欲的に取り組めるよう工夫されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 開隆堂出版（美術） | 光村図書出版（美術） |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領における美術科の目標が達成できるように、幅広い題材や、発達の段階に応じた内容が総合的に取り入れられている。 ・生活や社会の中の美術や美術文化にかかわる内容が幅広く取り入れられている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各材料や用具の扱いについて「学習を支える資料」が巻末に掲載され、生徒が各表現に関する知識及び技能を習得する手助けとなるよう配慮されている。 ・各題材の冒頭で、著名な作家等が手がけた作品の鑑賞を行うことにより、それらの造形的な良さや美しさを感じながら、自己の発想を広げることができるよう配慮されている。 ・生活や社会の中にある美術作品の美しさに触れ、学んだことを自分の人生や社会に活かそうとする心を育むよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)美術科の授業を通して育てたい力を大きく三つに分け、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性等の」をマークで示すなど分かりやすい表示がなされている。 (2)多様な作家作品を扱い、表現題材の導入として、また独立した鑑賞の題材として扱えるようになっている。写真も鮮明で、細部まで見えるように図版を原寸大で扱ったり、ワイド版を入れたり、部分を拡大したりするなどの工夫がみられる。 (3)作家や作者の言葉や、制作の様子、過程が取り上げられていることから、生徒が表現への見通しを持って、発想や構想に発展できるように工夫されている。 (4)安全面で配慮すべき活動に「！」マークが付けられていて、写真やイラストで用具の安全な使い方がわかるように配慮されている。 | (1)題材毎に様々な色や形の作例・造形的に幅広い作例が紹介され、生徒の発達段階や主題に応じた表現ができるよう配慮されている。 (2)まず各題材の目標を確認し、例に挙げられている作品を鑑賞した後、表現活動を行うという流れに沿って、それぞれ具体的な目標が最適な場所に明記されており、生徒達がスムーズに学習に臨める配慮がなされている。 (3)生徒による具体の制作過程を「みんなの工夫」という頁で紹介することで、時系列に沿った制作の流れを目で確認しながら自分なりの作品制作に見通しを持つことができるよう工夫されている。 (4)各題材の頁毎に掲載されている生徒作品に「作者の言葉」という工夫点を載せることで、各生徒が自己の表現に見通しを持ち、イメージを膨らめながら構想していけるよう工夫されている。 (5)巻末資料「学習を支える資料」の中で、取り扱いが危険な道具には目にとまりやすい注意喚起マークを付け、その安全な使用法を念頭に置きながら活動に取り組めるよう工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)掲載作品と併せて「作者の言葉」や「アイデアスケッチ」などを取り上げることで、作品がどのような発想・構想のもとに作られたのか学べるようになっている。 (2)職業との関連、美術に関連した職業をピックアップして、インタビューを載せることで発想のヒントとなるようにしている。2・3年に多くなっている。 (3)巻末に「学びの資料」として、題材での必要な基礎知識や技能についてまとめていて、生徒が自分で必要に応じて選択し、取り込めるようになっている。 (4)QRコードでweb上のコンテンツにアクセスすることで、学習内容の関連項目についてさらに深い学びができるようになっている。 | (1)1 学年では身近なものに目を向けたり、かかわったりしながら造形活動に取り組めるようにし、2・3 学年では自己の内面と向き合ったり、社会や環境に視野を向け、働きかけたりすることができるよう配慮されている。 (2)各題材の冒頭部に鑑賞のページが設けられ、題材の目標の中には表現活動に鑑賞が含まれていることが分かる記述がされており、表現と鑑賞を一体的に学習できるよう工夫されている。 (3)表現に関する各題材の頁に「発想構想」欄が設けられており、生徒自らがもの見方や感じ方を膨らめることができるよう配慮されている。 (4)2・3 学年の巻末部「学習を支える資料」には、新たな表現技法や文化、美術史に関する知識理解を深める内容が掲載され、新たな創造活動に臨む意欲を向上させたり、美術を愛好する心情を高めたりするための工夫がなされている。 (5)できるだけ多種多様な図版を示したり、掲載作品に関する音声解説や多面的に鑑賞可能な動画資料・全国の中学生が制作した作品をwebコンテンツで閲覧できるようにしたりすることで、様々な表現の手助けとなるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現を認めていくために、多様な作家作品を扱っている。 ・作品だけでなく、表現意図や思いに触れるようにして、生徒たちが思いと関連付けて制作に取り組めるようになっている。 ・知識・技能が必要に応じて制作に活かせるように巻末にまとめてあり、見やすくなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学び合う生徒同士の姿や、生徒の制作過程を数多く掲載することで、生徒達個々が主体的・協同的に学びを深めることができるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・全学年通して、題材内容は、発達の段階に応じて系統的に構築されており、多様な表現を意図して取り入れている。また作品への思いを取り上げ、生徒自らが自分の思いと向き合いながら、幅広い表現へ挑戦できるよう工夫がされている。生活や社会の中の美術文化との関りがもてるよう、作者の目線や、職業とつながるようなトピックを入れるなどの配慮がなされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・比較的落ち着いたトーンで目にやさしい紙面構成となっており、題材ごとの体裁や構成も統一されている。生徒達が安心し、見通しを持って主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 日本文教出版（美術） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な視点のポイントや作者の言葉から、見方や感じ方を広げ、学習が深まるように配慮されている。 ・各巻末に「学びを支える資料」が紹介され、技法や色彩、鑑賞活動がより充実するように工夫されている。 ・生活や社会、美術文化と豊かにかかわるための事例を多数掲載し、美術を生かし創造的に人生を送ることができるよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 各学年の発達段階に応じた表現活動が紹介され、使用されている材料なども複数取り上げて短時間でも無理なく表現方法が選べるように配慮されている。 (2) 3視点の「学びの目標」が、色別に示されており、いつでも主題や表現方法について振り返ることができるよう工夫されている。 (3) 題材における中心的な発問となる「造形的な視点」が設定され、生徒の思考が深められるように工夫されている。 (3) 見出しにUDフォントを使用し、写真等はコントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 (4) 実物の大きさや色彩にこだわった図版が多く、QRコンテンツでの360°鑑賞など、実物の鑑賞体験に近づけるよう工夫されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 各学年の発達段階を考慮した題材配列により、3年間の成長に合わせた美術の学びの高まりが意識できるように配慮されている。 (2) 巻末資料やデジタル教材で、題材に関連する資料や技法を見やすく掲載し、技能及び知識の習得を図れるよう配慮されている。 (3) 全冊を通して作者の言葉や情景写真、アイデアスケッチ等を掲載することで、発想や構想の手立てとなるよう工夫されている。 (4) 各題材に「造形的な視点」が生徒への問いかけの言葉で示され、生徒自らが主体的に見方や感じ方を広げられるよう配慮されている。 (5) 各冊ごとに美術の学びに向かう生徒へのメッセージを掲げ、他教科や社会とのつながりを意識した題材や作品を紹介し、これからの生活にも役立てられるよう工夫されている。 (6) 3視点に合わせた「学びの目標」により、生徒が見通しをもって活動でき、自己の振り返りや評価が明確になるよう工夫されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの題材構成で、意欲を引き出す図版の工夫、生活や社会との関連づけ等、生徒が興味をもって主体的に学べるよう工夫されている。 ・題材ごとに「学びの目標」「造形的な視点」が明確に示され、追求をより深めていけるよう工夫されている。 | |
| 5 総合所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の実態や3年間の生徒の成長に合わせて使用できるように構成されるとともに、問いかけの形で題材のねらいに迫れるようになっており、魅力的な美術作品、題材を紹介し、美術の可能性や喜びを感じることができるよう工夫されている。 | |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい保健体育） | 大日本図書（中学校保健体育） |
|---------------------------------------|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツが充実しており、インターネットを使って知識の習得を促したり、技能に関する実習を映像で確認できたりするよう配慮されている。 ・「見つける→学習課題→問題の解決→広げる」で構成され、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 ・学習したことを「活用する」で自他の生活に置き換えて考える活動が設けられ、自他の生活を向上させたり、さらなる学びへの意欲を喚起できたりするよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学習内容において、章末に記載されたキーワードをもとに、学習を振り返り、知識の定着の確認ができるよう配慮されている。 ・追究場面で様々な学習活動が設定され、思考力、判断力、表現力を育成できるよう配慮されている。 ・3年間の保健体育の学習と自己実現とのつながりを示し、全体像を捉え見通しをもって学ぶことができるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 | <p>〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)すべての学習内容において4つの段階によって課題解決ができるよう、1時間の構成が工夫されている。 (2)「見つける」で学習課題を把握し、「広げる」までの流れを一本の矢印でつなぐことにより、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (3)教科書内と他教科との学習内容を区別して示しており、単元以外の学習との関連を深めることができるよう配慮されている。 (4)学習課題で示された「キーワード」の解説が巻末にまとめられており、生徒が自分で調べ、学習事項の定着を図れるよう配慮されている。 (5)本文は見開きの中央、資料等はその左右両端という配置でほぼ統一されており、読みやすく、資料も活用しやすいよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)UDフォントが明確で、1学年では、発達段階を考慮し、本文を単語の途中で改行せず、生徒が読みやすいよう配慮されている。 (2)導入場面での「つかもう」の問いかけにより、身近な疑問から興味をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (3)全ての本文・資料下部に「ミニ知識」が掲載され、学習内容を生活と関連させて考えることができるよう配慮されている。 (4)重要語句に脚注を付けることにより、重要語句の理解を深めることができるよう配慮されている。 (5)青い帯で見出しと関連資料番号を表示し、学習内容と資料との関連を明確化し、学習意欲を喚起するよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い | <p>〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)章扉に、その章の学習に関連する小学校および高校の学習内容を明記し、小・中・高の順に学習の系統性を示す配慮がされている。 (2)各章ごとに道徳の内容項目との関連が示されるとともに、他教科や口絵との関連が示されるなど配慮されている。 (3)デジタルコンテンツを活用し、多様な学習方法によって様々な見方・考え方を引き出すことができるよう工夫されている。 (4)学習課題の欄に「キーワード」が示され、学習内容を明確にするとともに、資料と関連付けて学習することで知識の定着を図れるよう配慮されている。 (5)キャラクターによる説明や既習内容を想起させる問いかけなどにより、主体的に考えることができるよう配慮されている。 (6)各章末に、知識の習得を確認する問題と知識を活用して考える問題を設け、まとめの観点が明確になるよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)章扉に、中学校・高等学校の学習内容が矢印で示され、系統が視覚的に理解しやすいよう配慮されている。 (2)本文下に「リンク」が設けられ、単元相互や他教科との関連を図ることができるよう配慮されている。 (3)「話し合ってみよう」のページが多く設けられ、対話的に学び、見方・考え方を広げたり、深められたりするよう配慮されている。 (4)全ての本文左に「トビックス」が設けられ、学んだ知識を実生活と関連させて広げることができるよう配慮されている。 (5)配色を工夫し、本文と資料を明確に区別して見ることができるよう配慮されている。 (6)章末の「学びを活かそう」では、身に付けた知識を日常生活に活用して学びを深められるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」で単元の内容に応じた質問を投げかけ、身近な生活や経験の中から学習課題を自分事として捉え、追究できるよう、学習の導入が配慮されている。 ・デジタルコンテンツの充実を図り、ICTを活用した学習方法において学習の理解を深められるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての学習内容で、本文と資料が左右に分けて示され、学習内容を整理しながら学ぶことができるよう配慮されている。 ・資料が豊富でかつ精選されており、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習が進められるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <p>学習の流れが「見つける→学習課題→問題の解決→広げる」の4つの段階で構成され、課題解決型学習につながるよう工夫されている。また、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</p> <p>学習内容を明確にしたり、資料と関連付けて学習することで知識の定着を図れたりするよう配慮されている。また、ICTを活用した学習を視野に入れ、デジタルコンテンツが充実している。</p> | <p>学習内容や豊富な資料を活かして、対話的に学び、見方・考え方を広げ、深めていくことができるよう配慮されている。また、追究場面における様々な学習活動も思考力、判断力、表現力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>章末のキーワードで学習を振り返り、知識の定着が確認できるよう配慮されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 大修館書店（最新 中学校保健体育） | 学研教育みらい（中学保健体育） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と自分の生活、身近なスポーツなどとの関連を基に追究し、理解の定着を図ることができるよう配慮されている。 ・話し合いや友達にアドバイスをする活動などを多く取り入れ、思考力、判断力、表現力等を育成できるように配慮されている。 ・学習の流れや系統性を具体的に示し、生徒が見通しや興味・関心をもって学習を進めていくことができるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学習内容に「まとめる・深める」が設けられ、その時間で習得した知識を活用することができるよう配慮されている。 ・「課題をつかむ→考える・調べる→まとめる・深める」という流れで構成され、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ・各章末に、探究へのガイドが設けられ、これまでの学習から興味や関心をもったことについて自ら探究できるよう工夫されている。 ・学習の流れの中に、戻って再確認することが示され、知識の習得を基に主体的に学べるよう構成されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 【本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等】 | <ol style="list-style-type: none"> (1)それぞれの項目基本段落ごとに小見出しがあり、生徒が授業の流れを理解し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 (2)授業での学びをさらに広げたり、深めたりするために「クローズアップ」を設けるなど主体的・対話的に学習ができるよう配慮されている。 (3)本文以外にも「資料」を設け、視覚的に学習の内容を捉えたり、基礎的な知識を深めたりすることができるよう配慮されている。 (4)本文に出てくる言葉などを詳しく解説する「ほり下げる」をページ下部に設け、学習内容の理解が深まるよう配慮されている。 (5)見開き2ページの外側にさし絵、写真、図表の配置がほぼ統一されており、資料を視覚的に捉えやすい構成になっている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)細いユニバーサルデザインフォントを使用し、太字で示された重要語句が見やすくなるよう配慮されている。 (2)全ての「課題をつかむ」が、イラストや写真を使った具体的な問いやチェック項目、問題形式などになっており、生徒が課題を理解しやすいように工夫されている。 (3)保健体育に関わり活躍する人や専門家からのメッセージを掲載し、キャリア教育との関連から学べるよう配慮されている。 (4)用語の詳しい解説が、全て赤色の白抜き番号で示され、コントラストが明瞭で、視覚的に捉えやすいよう工夫されている。 (5)学習活動を説明するラインボックス内がクリーム色で統一され、順序立てて学習することができるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 【「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価】 | <ol style="list-style-type: none"> (1)体育理論、保健分野ともに全ての章扉に小学校、中学校、高校の学習内容が明記され、系統化が図られるよう配慮されている。 (2)「課題をつかむ」の欄の下に「関連マーク」を設け、関連する内容がある場合に指導しやすいよう配慮されている。 (3)技能を習得する「実習」では、グループで友達と関わり合いながら役割分担して学習を進めるなど配慮されている。 (4)章末には「知識・技能の確認問題」が設けられ、理解の定着が図られているか自分で確認できる構成になっている。 (5)章末には「特集資料」が設けられ、学習内容に関連した様々な情報を基に、自ら興味や関心のあることについて学習できるよう配慮されている。 (6)「章のまとめ」で、3つの資質・能力及び振り返りを記入する欄が設けられ、まとめや評価が明確になるよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)章扉に、中学校の学習内容を大きな文字で示すとともに関連する小学校及び高校の学習内容を明記するなど配慮されている。 (2)学習内容ごとに「学習の目標」が明記され、生徒が、1時間の学習を通して身に付けることを理解できるよう工夫されている。 (3)学習内容をキーワードでまとめ、体育理論・保健・体育実技・各教科を関連させて指導ができるよう配慮されている。 (4)「見方・考え方」がマークで明示され、見方・考え方を生徒と共有しながら学習を進めることができるよう工夫されている。 (5)章のまとめには、キーワードとページ番号が記載されており、知識の定着が確認できるよう配慮されている。 (6)多くの写真に具体的な地名が記載されており、自分たちの地域と比較しながら考えることができるよう工夫されている。 (7)章のまとめで、観点別で自己評価をしたり、学習内容を生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめを確認問題で確認したり、振り返りを記入したりすることができ、自己の学びの評価が具体的に分かるよう配慮されている。 ・章扉では写真の吹き出しやイラストを基に、自分の生活との関連を確認し主体的に学ぶことができるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな写真や、見やすいレイアウト、章末・巻末資料の充実により、生徒が自らの生活と関連付けて主体的に学べるよう工夫されている。 ・各章末の「探究しようよ」によって、既習事項を基に思考力、判断力を働かせ、深い学びを実現できるよう配慮されている。 |
| 5 総合所見 | <p>本文での学習から章末のまとめという流れで構成されており、見通しをもって学習を進めることができるよう配慮されている。</p> <p>資料については、コラム、さし絵、写真、図表など多岐にわたり、生徒が興味や関心をもてるよう配慮されている。また、章末の「章のまとめ」によって、学習の内容を振り返りながら自己評価ができるよう配慮されている。</p> | <p>どの単元も目標が明確となった構成で、生徒自ら課題をもち解決に向かう学習ができるよう配慮されている。また、充実したイラストや写真、資料の配列となっており、生徒が様々な「見方・考え方」をはたらかせながら自ら探究していけるよう工夫されている。</p> <p>様々なキーワードや重要語句なども分かりやすく配列されており、学習意欲の向上や基礎的な知識が習得できるよう工夫されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology） | 教育図書（New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する／技術ハンドブック） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 原理・法則や基礎的な仕組みについて裏付ける図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が取得できるよう配慮されている。 見方・考え方を確認する活動を設け、統一された問題解決の流れを示し、自分自身の見通しがもてるよう配慮されている。 自分の問題解決の過程を振り返り、取り組んだ内容や新たな問題解決に向けての課題などを確認できるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ＜見つける→学ぶ→振り返る＞の学習の流れで、学習の理解を自己評価して深められるよう配慮されている。 設計・計画の流れを各編で共通で 4 ステップにまとめることで、生徒が問題解決の力を養えるよう配慮されている。 技術の役割や活用についてまとめることで、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> 「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 ガイダンスや各編の題材の構成が、「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。 社会で活躍する技術に携わる人を、「技術の匠」としてコラムで紹介することで、ものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さなどを伝えるとともに、職業観、勤労観の育成につながるよう工夫されている。 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全」マーク、「衛生」マークで記したりして、安全に作業できるよう配慮されている。 さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。写真や図版を多く用いて製作工程を示し、製作の流れが詳しく分かるよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 ガイダンスや各章の題材構成が、「見つける」「学ぶ」「振り返る」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。 生活を実感的にとらえるために「スゴ技」「技ビト」「資料」などで興味・関心をもった追究ができるように配慮されている。 実習に入る前に、安全で楽しく実習を行うための決まりごとを示したり、文中に「安全マーク」「衛生マーク」で記したりして、安全に作業できるよう配慮されている。 さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。実習例などを見開き2ページ大きく表示し、左から右へ製作の流れが詳しくわかるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> 各編の導入で「この編で学ぶこと」が示され、見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。 「リンク」「他教科」「小学校」マークを用いて、教科間の連携を高めている。教科関連を示すDマークは、他教科や小学校の関連する内容の教科書紙面を見ることができ、学習内容の理解を深められるように配慮されている。 「技術の見方・考え方」を示すとともに、身の回りの製品や社会における「技術の最適化」の例を紹介することで、日本の技術が生活や社会を支えていることに気付かせるよう工夫されている。 活動や問題解決例を多く掲載し、主体的に調べたり、協働して比較・検討したりするための発問などを設け、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう配慮されている。 さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されている。伝統的な製作物から新素材や最新の建造物等まで幅広く取り扱うことができるよう配慮されている。 豊富な問題解決例を取り上げるとともに、製作の工夫例を「私の工夫」として紹介し、工夫・創造することの大切さを感じられるように配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 学習の項目の冒頭に他教科や小学校とのリンクマークを設け、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮されている。 巻頭の「社会で活躍する技術を見つけよう」や「先輩からのメッセージ」を通して、職業観、勤労観を重んじ、主体的に社会の形成に参画できる力を育てるよう工夫されている。 各編で、「見つける」→「学ぶ」→「振り返る」という学習の流れを明確にすることで、生徒が本文を読み進めやすく、技術の見方・考え方を養うことができるよう工夫されている。 各内容項目の章末では、技術のプラス面・マイナス面を考察してまとまる構成になっており、社会の発展と技術について、自ら考察できるように工夫されている。 さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明等が段階を追って記述されている。各章扉に最新の技術や建造物などを取り扱えるよう配慮されている。 各編の1章、2章の終わりにまとめのページが配置され、各編の終わりには3つの観点毎にまとめ問題が配置されており、内容を確認することができるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 技術を学ぶよさを感じられるよう、「問題解決カード」をもとに、生徒が主体的に問題解決できるよう工夫されている。 多様な題材を取り入れ、製作・実習の際のつまづきを写真や図で示すなど、円滑に学習できるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 導入で簡単な題材の製作をすることで、製作することの喜びや技術を学ぶことのよさを感じられるよう工夫されている。 多様な題材を掲載し、手順を分かりやすく示すことで、興味・関心をもって追究できるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 全般に渡って図や写真、マークなどを用いて見やすくまとめられている。また、見通しを持って学習が進められる構成になっていたり、掲載されている内容が豊富で充実していたりするなど、主体的に深く追究できるよう工夫されている。 | 学習の流れが明確になっていて、見通しを持って学習を進めていくことができる。また、導入で簡単な題材の製作をすることで、技術の良さを感じながら学習を進めていく構成になっており、生徒が興味・関心を持ちやすいよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 開隆堂出版（技術・家庭 技術分野テクノロジーに希望をのせて） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得を通して社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるよう配慮されている。 ・導入課題を設けて生徒に問題意識を持たせ、自ら解決しようとする能力を養うよう配慮されている。 ・社会や環境と技術の関わりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を評価・活用する態度を育むよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1)「生活や社会と技術」「技術による問題解決」「これからの技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。 (2)身近な技術を調べる活動を通して「技術の利用に関する工夫」や「技術のしくみ」に気づくとともに、「科学的な原理・法則」を踏まえ技術・技能の基礎・基本を学べるように工夫されている。 (3)生活を実感的にとらえるために「参考」「探究」「コラム」などで興味・関心をもった追究ができるよう配慮されている。 (4)実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、最初に全体像をイラストで記し、「安全」マークで記し、安全に作業できるよう配慮されている。 (5)本文の書体はUDフォントを使用している。基礎・基本的な内容の理解を助けるために、分かりやすい図版・イラスト・写真を多数掲載し、必要性のあるものについては、生徒の目線で撮影したり描写したりする配慮がされている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1)各内容の扉に「小学校との関連」「中学校他教科との関連」があり、関連する他教科と連携を図れるよう配慮されている。 (2)環境に関する記述部分には「環境マーク」を付して、環境への意識を高め、循環型社会に対応していく態度が身に付くよう配慮されている。 (3)各小項目の冒頭に設けられた「導入課題」を通して生徒が授業への積極的に取り組む動機づけとなるように配慮され、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 (4)本文の記述は、基礎・基本と参考・探究等の区分を明確にし、学習内容の精選と重点化を図れるよう配慮されている。 (5)さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されている。伝統的な工芸や新技術等も幅広く取り扱えるよう配慮されている。 (6)各内容の終わりに「学習のまとめ」を設け、チェック項目による確認や、技術の仕組み、工夫の評価と、学びを深める発展的なまとめができるよう工夫されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術と産業との関わりを随所に掲載し、技術を学ぶことのよさを実感し、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫されている。 ・実習を行う際は、科学的な原理・法則などを踏まえて計画・設計し、具体的なものが創造できるよう工夫されている。 | |
| 5 総合所見 | 各内容とも大切なポイントがわかりやすくまとまっていて、基礎的・基本的な知識や技能を習得しやすい。また、生徒が興味・関心を持ちやすい構成になっており、技術を学ぶことの楽しさを感じながら主体的に学べるよう工夫されている。 | |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新しい技術・家庭 家庭分野自立と共生を目指して） | 教育図書（New 技術・家庭 家庭分野くらしを創造する） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも確かめよう」で実践的・体験的な活動を確認することで、基礎的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・問題解決的な学習の流れを繰り返すことで、生活の中の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・ガイダンスや各編の導入で生活に係る見方・考え方を例示し生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・「学びを生かそう」で、繰り返し問題解決的な学習を行うことで生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・社会の人々のメッセージを取り上げ、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容を生かし発展的な学習ができるよう題材が配列されている。 (2) 「話し合ってみよう」「活動」を設け、身近な生活の問題を提示し「まとめよう」「生活を生かそう」で生活を工夫、創造するような題材の構成が工夫されている。 (3) 「活動」で提示された実践的・体験的な活動を通して、生徒が家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮されている。 (4) 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」や「いつもたしかめよう」各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面を重視した構成となっている。 (5) ミシン操作のイラストがわかりやすく、他にも鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表が豊富で、生徒が内容理解ように配慮されている。 | (1) 簡易な手順の実習やロールプレイングなどを組み合わせ、生徒の発達段階や生活実態等を踏まえて題材が配列されている。 (2) 巻頭の折り込み頁の写真やイラストと、各章の導入の身近な生活の問題から「やってみよう」「学びを生かそう」の流れで、生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。 (3) 「考えてみよう」「話し合ってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。 (4) 各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。 (5) 各内容に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 巻頭のガイダンス、「生活の営みに係る見方・考え方の例」「リンク」などで学習内容との関連を図るよう配慮されている。 (2) 各編の「資料」の図表や「せいかつメモ」など、資料として活用できる項目が多く、身近な生活の問題で活用できるよう工夫されている。 (3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 (4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「活動」で家庭実践に発展できるよう配慮されている。 (5) 内容に焦点化したさし絵・写真・図表等で、生徒が生活の課題を考えられるよう配慮されている。 (6) 基礎的内容を「まとめよう」「自己評価」で振り返り、各編の「学習のまとめ」で評価の観点が明確になるよう工夫されている。 | (1) 「やってみよう」「学びを生かそう」で身に付けた知識・技能を関連付けて活用し、課題解決的な学習となるよう配慮されている。 (2) 各題材の「見つめる」で生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、「学びを生かそう」で生徒が課題を選択して主体的・対話的に取り組めるような題材の取扱いがされている。 (3) 「自立度チェック」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、家庭と連携して学習を生活に生かせるよう工夫されている。 (4) さし絵・写真・図表等の内容を、身近な生活の課題解決や現代社会の課題の想起に活用できるよう配慮されている。 (5) 各章の「ふり返り」で身に付いた知識・技能を確認し、章末の「学習のふり返り」で資質・能力の三つの柱に対応した観点に沿って評価できるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・「家族・家庭の基本的な機能」「生活の営みに係る見方・考え方の例」で学習内容との関連が明確になるよう工夫されている。 ・「いつも確かめよう」で生活での実践に必要な基礎的な技能を繰り返し確認し身に付けられるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学びを生かそう」「生活の課題と実践」などで学習過程を意識した実践を繰り返す、課題を解決する力が身に付くよう配慮されている。 ・「考えてみよう」などのワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びの実現に向け工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 生活の営みに係る見方・考え方の例を示し、図表等の資料が多いことで主体的に学習に取り組みややすく、「いつも確かめよう」等で、基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫が多くされている。 | 「考えてみよう」「学びを生かそう」等で、家庭生活と結びつけた実践的な学習に取り組みややすく、「学習のふり返り」で知識・技能の習得を評価し定着できる様に配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 開隆堂出版（技術・家庭 家庭分野生活の土台 自立と共生） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・「生活にいかそう」で、問題解決的な学習を行うことで生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 ・地域や社会に目を向け持続可能な生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 「小学校での学び」の振り返りから知識・技能を身に付け、実生活や持続可能な社会への活用に配慮し、題材が配列されている。 (2) 巻頭のガイダンスや各章の導入は、シンプルな構成で学び方や内容がわかりやすく、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 (3) 家庭や地域の人々との関わりなどの身近な生活の問題に目を向け、課題解決への流れと具体的な例示で、生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。 (4) 調理や製作等の安全に関わる基礎・基本や、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮されている。 (5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 各題材や教科書全体を通して、家庭の機能や自立と共生、生活の見方・考え方を関連付けた学習となるよう配慮されている。 (2) 「先輩からのエール」や具体的な活動例、「生活にいかそう」で家庭生活や地域の行事等で活用できるよう配慮されている。 (3) 実践的・体験的な活動や「生活にいかそう」で主体的・対話的に学習できるよう、生活に身近な題材の取扱いがされている。 (4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「生活にいかそう」で家庭実践につなげられるよう配慮されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容を活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮されている。 (6) 「生活の課題と実践」や「学んだことを次に生かそう」では、具体例を豊富な写真等で示し生活への発展につながるよう配慮されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・各内容の最後に、持続可能な社会の項目を設け、課題を理解し、主体的に考え行動できるように内容が工夫されている。 ・各内容のまとめりに、「生活にいかそう」で学んだことを生徒の身近な課題にすぐに生かせるよう配慮されている。 | |
| 5 総合所見 | <p>「考えてみよう」「生活に活かそう」などで生徒が主体的に考えたり家庭実践へのつながりができたりするような配慮がされている。また、各章の導入に、印象深い写真や図等を用いて、学び方や内容がわかりやすく、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> | |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍 (NEW HORIZON English Course) | 開隆堂出版 (SUNSHINE ENGLISH COURSE) |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・文法や語彙などの理解を促し、活用する技能を身に付けるような言語活動の配慮がされている。 ・各単元で場面設定がされており、目的・場面・状況などに応じて様々な話題について伝え合う言語活動の配慮がされている。 ・外国語の背景にある文化の理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度が育成されるよう構成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新出表現の理解や技能を身に付けることを促すように言語活動が配置され、技能を活用しやすい構成になっている。 ・単元で扱われている題材内容について思考し、情報を整理して自分の考えや気持ちを発信する活動が設定されている。 ・主体的にコミュニケーションを図る態度の育成に向けて、文化を学び、相手を意識して発信する言語活動が工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | (1) 小学校での学びを振り返る単元や、各学年の接続をするための単元が設定されており、進級時の学習を円滑に始められるよう配慮されている。 (2) 日常的な話題や社会的な話題について、生徒が自分の考えや気持ちを話したり書いたりして表現する言語活動に取り組めるよう構成されている。 (3) 英語を使ってクラスの友と自分の考えや気持ちを伝え合い、課題解決するような言語活動が設定されていることから、対話的な学習を促すよう構成されている。 (4) 話されたり書かれたりした意図や背景を想像してから、考えたことを発表したり、書いたりする言語活動が設定されていることから、生徒の気付きを促すよう構成されている。 (5) 単元の題材や物語の理解を促すさし絵が掲載されていたり、学年に応じて書体の工夫がされていたりするなど配慮されている。 | (1) 1学年から3学年へ日常的话题から社会的な話題まで扱うように構成されており、単元の配置が小学校での学びを接続することができるよう工夫されている。 (2) 新出表現の導入場面では、友だちとの英語によるやり取りが設定されており、やり取りを通して新出表現を身に付けていくよう工夫されている。 (3) 新出表現を漫画で示すなどの言語の働きや使用場面を視覚的に理解するように促すよう配慮されている。また、音読について意識を高めるよう工夫されている。 (4) 学んできた表現やできるようになったことを使って自己表現を高める言語活動や本文の内容を要約して相手に伝える活動が工夫されている。 (5) 配色についての配慮や大きなさし絵、学年に応じて書体の工夫をするなど配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | (1) 1学年の教科書では「聞くこと」や「話すこと」が中心となって扱われており、学年が上がるにつれ、段階的に各領域の言語活動が扱われるよう構成されている。 (2) 単元終末に設定されている「英文を読んでから書く」などの領域統合的な言語活動に向けて、各単元が段階的に指導できるよう配列されている。 (3) 視覚的に配慮された新出表現の導入では、使用する目的、場面、状況に生徒が気付きながら、自分の考えや気持ちを発信する言語活動が構成されている。 (4) 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に特化したページでは、日常的话题について言語活動をしながら英語を身に付ける指導をするよう構成されている。 (5) 図表やグラフなどの視覚的補助になるものを使って聞くことや読むことの力を育むよう配慮がされている。 (6) 巻末の学習到達目標で各領域について生徒の自己評価を促し、できるようになったことが確認できるよう工夫されている。 | (1) 総合的に各領域の指導をすることができるよう配慮されており、「話すこと」「書くこと」においては即興的に話す力を、単元の終末では発信する力を育成するよう工夫されている。 (2) 聞いたり話したり書いたりする活動で表現の定着を促し、話すこと[やり取り]の言語活動では、使う会話の継続の仕方などについて指導するよう段階的に構成されている。 (3) 特設単元では、モデル文の提示やメモなどを活用したり、友だちとやり取りしたりすることを通して、育成してきた力を活用して発表をする言語活動が配置されるよう工夫されている。 (4) 新出表現が漫画で提示され、言語の働きや使用場面の理解を促すよう配慮されている。また単元の題材について、英語で即興的にやり取りする活動が配置されるよう工夫されている。 (5) 写真などの視覚的な支援によって、扱われている言語材料や単元で扱われている題材の理解を支援するよう工夫されている。 (6) 巻末の「できるようになったこと」リストから、学習到達目標について確認を促せるよう工夫がされている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元構成が系統的に積み上げられており、英語を使う目的、場面、状況などへの気付きを促すよう工夫されている。 ・物語や説明文など様々な英文とそれに伴う読み取りの観点が設定されており、概要や要点の把握について配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新出表現は小学校と同様に漫画で場面が提示され、単元で学習する内容も具体的に示されている。 ・即興的に英語を用いて自分の考えや気持ちを発信する活動が盛り込まれている。 |
| 5 総合所見 | 言語活動の目的や用途を明確にし、小学校の既習内容との接続を段階的に位置付けた単元配列を構成することで、生徒の英語学習への意欲を喚起し、生徒が主体的に言語活動に取り組む表現力を高められるよう工夫されている。 | 読む力を鍛える単元構成、理解したことを表現につなげる活動、漫画や写真を用いた使用場面の明示など、生徒が興味を持続しながら主体的に語学力を付けられるよう考慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 三省堂 (NEW CROWN English Series) | 教育出版 (ONE WORLD English Course) |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元が「見通し」「習得」「活用」「振り返り」の構成になっており、5領域の知識と技能の基礎を養える構成となっている。 目的・場面・状況を明確にした対話文が設定され、繰り返し言語活動を通して思考、判断、表現を促すよう配慮されている。 日本や他国の文化的な背景を考慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度が養われるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 習得した4技能5領域の知識や技能を実際のコミュニケーションに活用できるよう、実践的な言語活動が配列されている。 日常的・社会的な話題について、読んだり聞いたりしたことを理解したり、伝え合ったりするような言語活動が工夫されている。 社会的な題材を言語活動と関連させて提示し、相手意識をもちながら、主体的にコミュニケーションを図れるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 | <ol style="list-style-type: none"> 1学年では、小学校の振り返りが扱われている。また、どの学年においても、生徒の発達段階に応じて段階的に英文・語彙の量が増えていくよう工夫されている。 各単元の導入で言語材料を理解し、定着を図る活動や題材に関わって自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が配列されるなど工夫されている。 生徒の興味や関心、発達段階に応じて、異文化理解、自然理解・社会理解、平和、日本の伝統文化などの題材が多岐にわたって配置されている。 特設単位では、既習事項を用いて自分の考えや気持ちを相手に伝える表現活動が設定されており、5領域を関連付けて学習できるよう構成されている。 フォントの違いや、表現を比較できるような配色が工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 円滑な小・中接続を意識した単元が配置される等、発達段階に応じた題材が配列され、段階的に学習が積み上げられるよう配慮されている。 「話すこと」の力を高める言語活動では、様々な対話場面における質問側と応答側の双方向の対話例を元に、互いの考えや気持ちを伝え合う活動ができるよう工夫されている。 読み取りの観点から本文の場面設定の中で興味をもち、思考を働かせながら表現につながるよう配慮されている。また、音読について意欲を高めるよう工夫されている。 特設単位等では、聞いたり読んだりした情報について、既習事項を活用しながら書いてまとめたり、相手に伝えたりする領域統合的な活動となるよう工夫されている。 話し手ごとの吹き出しの色分けや、活動や状況別の字体・書体の使い分けがあり、見やすく読みやすいよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> 見通し→習得→活用→振り返りという流れで単元が構成されており、複数の単元を学んだ後設定されている特設単位により、既習事項を用いて表現力を高められるよう考慮されている。 各単元の序盤で基礎的な知識や技能の習得を促し、言語活動で語いやりリスニング力、対話力を身に付け、特設単位で発信するよう構成されている。 「話すこと[やり取り]」を扱う言語活動では、やり取りのモデルを参考に即興で会話を行ったり、話し合いをしたりするよう工夫されている。 相手とのやり取りの際、その目的・場面・状況を明確にした対話文が配置されており、即興で伝え合う力が付くよう配慮されている。 5領域のどの領域が扱われているのかが明確になるよう工夫され、言語材料が明確にポイントとしてまとめられている。 巻末の部分や巻末の特集等を通して、生徒にとっての学習到達目標が提示されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 基本的な知識・技能の育成を目指す段階から相手を意識したコミュニケーションの段階まで、4技能5領域の活動が総合的に配置され、段階的にそれぞれの力を養えるよう構成されている。 単元のまとめの言語活動に向け、言語材料について理解する項目や、話したり聞いたりして定着を図る言語活動が段階的に配列されている。 特設単位では、モデル英文を聞いたり読んだりして参考にしたり、様々な情報を整理したりしながら、伝えたいことが表現されるよう工夫されている。 本文がモデルとなり言語の使用場面や働きが具体的に提示されたり、対話の活性化を促す参考表現等が位置付けられたりし、言語活動の参考となるよう構成されている。 本文の内容に関連付けられた絵や写真が挿入され、学習者の理解の補助となるよう配慮されている。 巻末の学習到達目標に関するリストでは5領域ごとの到達目標が設定され自己評価を促すよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 進級時に前の学年との接続を図る内容が、教科書の最初の部分に配列されるよう配慮されている。 生活に即した知識・技能の習得を目指し、看板等から必要な情報を読み取る題材が配置されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 前年度の復習となる導入単元や領域ごとの到達目標が設定され、段階的に知識・技能を身に付けるよう配慮されている。 対話活動を促す活動や4技能5領域の技能を高める項目が配置されるなどの配慮がされている。 |
| 5 総合所見 | <p>複数の単元を通しての表現活動や進級時に配慮した単元配列、幅広く多岐にわたる題材など、生徒の語彙力、表現力を鍛えるとともに異文化理解など興味関心を高めつつ主体的に英語学習に取り組めるよう工夫されている。</p> | <p>絵や写真、音声を多用した練習活動、様々な読み物教材の題材など、生徒が相手意識を持ちながら興味関心を持続して学習に取り組むよう配慮されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 光村図書出版 (Here We Go! ENGLISH COURSE) | 新興出版社啓林館 (BLUE SKY English Course) |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入時、目標が明示され、言語活動により新出表現を習得し、活用を通して技能の定着が図れるよう構成されている。 コミュニケーションの目的や場面が示され、思考・判断したことを表現する言語活動が工夫されている。 外国語の背景にある文化理解を図るため、多様な題材に触れ意見交流する教材が選定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元で、4技能5領域の育成を目指して段階を踏んで活用できる知識及び技能を習得するよう工夫されている。 各単元で、日常的・社会的な話題についての理解を深める題材配列がされ、最後に自らの考えを表現するよう構成されている。 多くの国々の話題や題材に関わる詳しい情報に触れながら、主体的なコミュニケーションを図れるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> 小学校での学びを接続する単元が配置され、自分のことから身の回りのこと、社会や世界のことへと視野を広げながら学習に取り組めるよう工夫されている。 各単元で「聞くこと」「話すこと[やり取り][発表]」「読むこと」「書くこと」の総合的な育成が図られるようになっており、言語活動を通して学習内容の定着を目指すよう工夫されている。 単元冒頭では、さし絵、写真が使われており、生徒の興味・関心を引き出したリ、音読について意識を高めたりするよう工夫されている。 読むことを扱っているページでは、読み取りの視点が明示されて理解を促したり、各単元のさし絵を基に、本文の内容を要約して相手に伝えたりするよう活動が工夫されている。 語彙や文法事項などの言語材料について識別しやすい配色や形の配慮や、学年に応じた書体が配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 1年生では小学校で学んだことと接続を図る単元が設定されている。また「読むこと」の力を高める単元を学年の後半に配列するなど、発達段階に応じ配慮されている。 題材について自分の考えを深め、単元終末において、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行うことができるよう構成されている。 単元終末に設定されている項目でも題材や内容について詳しく扱われることで、生徒が興味・関心をもって深い学びに導かれるよう配慮されている。 複数の単元を学習したあとに、聞いたことを基に話すなどの統合的言語活動を行い、既習表現を生かしながら自分の考えや思いを表現することができる特設単元が位置付けられている。 英文の理解や練習活動を助ける写真やさし絵が配置され、新出表現の重要な項目が分かるよう字体や配色が工夫されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> 単元冒頭のページでは、重点的に取り組む領域と目標が示され、単元終末に、学習した語彙や文法事項を活用するよう構成されている。 主に「聞くこと」を通して新出表現に触れ、様々な言語活動を通して学習した表現を活用しながら身に付けていくよう工夫されている。 特設単元では、複数の単元で学習した内容を活用し、英文を読んだり聞いたりした後に、その内容を踏まえて、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が設定されている。 場面別の表現を扱うページでは、例示された会話のやり取りから新出表現の使用場面を理解し、練習してから言語活動へとつながるよう工夫されている。 英文を読むページには内容に関わるさし絵が、聞き取り活動では、場面を識別することができる写真が用いられている。 単元冒頭の目標や終末の振り返りから、生徒に学習到達目標の確認を促すよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 文法事項に焦点をあてた項目で知識・技能を学んだ後に、英文を読んで理解を深め、単元の終末でテーマに沿って発信をすることで、表現力を高めるよう構成されている。 さし絵などを参考に言語材料を理解したり練習したりして定着が促されるようになっており、特設単元において活用できるよう構成されている。 モデル文を基に自分の考えや気持ちを表現する段階へ進むように、考えを整理し、まとまりのある文で表現するよう工夫されている。 文脈がある英文の新出表現から使用場面の理解を促し、目的・場面・状況などから相手意識をもって表現する活動に取り組めるよう配慮されている。 読むことの指導をする際、写真や表、さし絵が生徒の理解を促すよう工夫されている。 学習到達目標が掲載され、生徒が単元のはじめに具体的な目標をもって取り組めるよう配慮されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の中学生が、様々な経験を通して成長していくストーリーが描かれるよう構成されている。 既習の表現や語彙に繰り返し触れ、使いながら身に付けるような活動が配列されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、題材に関する問いなどが示され、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 生徒にとって身近な題材や生徒が活用しやすい英文で新出言語が学習できるように単元が構成されている。 |
| 5 総合所見 | <p>日常の身近な話題から表現につなげることで生徒の表現意欲を喚起したり、平易な場面設定で言語活動の目的を明示したりするなど、生徒が抵抗感なく英語学習に取り組む表現活動に取り組めるよう配慮されている。</p> | <p>文字と発音、対話文や読み物教材の題材、複数の単元を学習した後に表現活動を仕組む単元配列など、生徒が異文化への抵抗なく外国語学習に取り組めるよう考慮されている。</p> |

| 採択基準 | 発行者名 東京書籍（新訂 新しい道徳） | 教育出版（中学道徳 とびだそう未来へ） |
|---|--|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 各教材において道徳的価値に触れた後、自己を振り返るような設問で今までの自分を見つめる学習ができるよう配慮されている。 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、友と意見交換を行って、問題解決を図ることができるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が判断を迫られる場面、道徳的価値の葛藤を考える活動が取り入れられ、道徳的価値に向き合えるよう工夫されている。 話し合いやグループ追求の機会が随所に設定され、他者と対話し協働しながら多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> 重点項目として教材が複数載っているなど、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材で学習ができるよう配慮されている。 色鮮やかな挿し絵や写真、漫画などの口語体の文章など、関心・意欲を喚起するよう工夫されている。 基本的な授業の流れや話し合いの仕方を学び、生徒が主体的・対話的な学習ができるよう工夫されている。 様々な立場の人の考えを想起する設問があり、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 ユニバーサルデザインフォントを利用し、生徒の発達段階に応じ配慮されている。 会話文や設問「考えてみよう！」の文は、文節での改行を行い、読み間違いが起きにくいよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 道徳的価値の葛藤を多く含んだ身近な事象が、発達段階に応じて取り上げられており、自分と重ねやすいよう配慮されている。 イラスト・航空写真・漫画形式など、多様な形式の教材が配列されており、生徒の関心・意欲を喚起できるよう工夫されている。 役割演技を随所に取り入れ、生徒が日常の自身との関わりで理解を深め、主体的・対話的に学習ができるよう工夫されている。 登場人物が判断を迫られる教材が多く、適切な行為を多面的・多角的に考え実践しようとする意欲が育つよう配慮されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、行数を示す基準の数以外にも点を示し、読みやすくなるよう配慮されている。 見開きの写真や絵を提示したり、内容に応じて柔らかな色調のイラストを記載したりして、内容理解を助けるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> 各学年、本編で35時間分の教材と付録も5教材を用意することで、学校や教室の実態に合わせた指導ができるよう配慮されている。 教材ごとに教科関連マークを設定し、他教科の学習内容や学校行事の実施時期との関わりが配慮されている。 現代的な課題である「いじめ」や「いのち」について、複数教材を組み合わせた重点的な指導や、道徳的行為を体験的な学習を通して考えることができるよう配慮されている。 特に「感動、畏敬の念」のような大自然を扱う教材においては、見開きの写真で自然の雄大さを感じられるよう工夫されている。 各教材の中で生徒に自身の学びを実感させ教師が成長の様子を把握できるような記入欄が工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> 同じ学級・人物が登場するシリーズ教材が掲載されており、主人公の葛藤や成長から考えられるよう配列されている。 巻頭に、生徒が主体的に関わりながら見方・考え方を深めていくモデルが示されており、年度当初に指導できるよう配慮されている。 現代的課題である「いじめ」について、複数の教材のつながりを重視した重点的な指導や、発達段階に応じた教材による効果的な指導がなされるよう配慮されている。 表情が細やかに表現された絵や写真が、人物の心情や気持ちの変化の想像を容易にするなど、指導に生かせるよう工夫されている。 巻末に「道徳の学びを記録しよう」のページが設けられ、毎時間の記録や、学期末や年度末に心に残ったことを記入できるようになっており、生徒の学びや成長を把握できるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 人権教育や進路学習、職場体験学習などの学年や学校の行事と関連付けたり、生徒の実態に応じたりして教科横断的に指導が進められるよう配慮されている。 写真やイラストを使った文章・漫画・新聞記事から、道徳的な価値を主体的に読み取り、体験的な学習活動や話し合い活動を通して多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後の自分はどうか、自分に寄せて考える発問を設け、議論していくことを通して、自分自身を深く理解し、人間としてのよりよい生き方について考えられるよう工夫されている。 登場人物が判断を迫られる場面といった、道徳的価値の葛藤を含んだ教材が多く配列され、自分ならどう行動するか生徒が自ら考え、対話を通して考えを深められるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 教材の冒頭でその時間に考えることがぶれないようテーマで示し、「考えよう」で、道徳的価値に触れ、「自分を見つめよう」で自己を見つめる発問を示し、学習が段階的に進められるよう配慮されている。 | 葛藤を含んだ身近な事象を多く扱い、役割演技などを通して主体的・対話的に学習を進め、1時間の学習後、及び、学期末や学年末に巻末頁に記録を蓄積することで、自己の成長を確認できるよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 光村図書出版（中学道徳 きみがいちばんひかるとき） | 日本文教出版（中学道徳 あすを生きる／道徳ノート） |
|---|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が目指そうとする姿を設定し、自己を見つめながらそれを具現化していけるよう端的な発問が工夫されている。 ・教材末に「考えよう」を設定して、生徒が友と話し合う中で多面的・多角的に考えてまとめやすいよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値が教材の主題名として明示され、「考え、議論する」学習を通じて生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ・問題解決的な学習や話し合いなど、様々な学び方が写真で例示され、生徒が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)生徒の成長や問題意識に寄り添った学びになるように、年間で3つの「シーズン」に分け、系統的な教材配列が配慮されている。 (2)漫画やグラフ、ポスター、新聞記事などから読み取り、個々の考えを引き出して追究に結びつくよう工夫されている。 (3)主体的・対話的に学習できるよう「深めたいむ」というページを設け、自分に引き寄せて考えるよう工夫されている。 (4)役割演技を取り入れた活動を提案し、道徳的行動を多面的・多角的にとらえて話し合えるよう配慮されている。 (5)ユニバーサルデザインフォントを用いている。また、各教材を分類・色分けするなど配慮されている。 (6)写真資料やさし絵、グラフなどが学習内容の理解を支援できるよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)系統的・発展的に学習が進められるよう各学年のテーマを設定し、他教科等との関連や校種間との連携にも配慮されている。 (2)身近な生活場面や著名な人物、漫画形式、全国各地の題材など、多岐にわたる教材で学習意欲を喚起できるよう工夫されている。 (3)教材のねらいに迫る発問に加え、「自分にプラス1」の発問を設け、自分の生き方について、考えを深められるよう配慮されている。 (4)「いじめ」を重点テーマとし、複数の教材とコラムで組み、多面的・多角的に学習できるよう配慮されている。 (5)ユニバーサルデザインフォントを用い、補足説明をつけたり登場人物を明示したりして読みの抵抗を少なくするよう配慮されている。 (6)写真やさし絵を大きく鮮明にし、見開きで異なる内容が混在しないようページ構成を工夫し、学習意欲を促すよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1)生徒の生活を意識したテーマについて、重点的に提案できるよう構成され、発達段階に合わせた教材配列が工夫されている。 (2)情報モラルについて、現実的な場面設定や情報機器の良さに目を向け、実態に応じて柔軟に指導できるよう配慮されている。 (3)主体的な意見や自由な発想を促すためにめあてが記載されたり、多面的・多角的な見方・考え方ができるよう端的な問いが設けられたりするなど配慮されている。 (4)教材ごとにQRコードを活用して、朗読や動画などのデジタルコンテンツで、学びを深めたり広げたりできるよう配慮されている。 (5)毎時間の授業の終末に、巻末の「学びの記録」シートで振り返りを記述しながら、足跡を記録して自己の学びの深まりに気付くことができるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)日常生活や学校生活、学校行事と関連させて考えられるよう、身近な教材や幅広いテーマが適切な時期に配列されている。 (2)学校行事の実施時期との関係を考慮して教材が配列され、地域や家庭生活とのつながりでも授業が展開できるよう配慮されている。 (3)いじめを自分たちの問題として考えるために、いじめと向き合う教材を複数提示したり、体験的な学習などを組み合わせたりすることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 (4)写真やさし絵が鮮明に大きく配置され、参考画像や動画を活用することで、生徒がより興味・関心をもてるように工夫されている。 (5)1教材1ページの道徳ノート(別冊)で、生徒が自分自身の学びの積み重ねを実感できるとともに、教師が生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・「人権教育」「いじめ問題」「情報モラル」「命の尊さ」を年間通して向き合い、その道徳的価値の多様性の理解を深めることができる教材が準備されている。 ・生徒自身が目指したいと願う姿を具体的にしながら、主体的な意見や自由な発想を通して、目標を具現化していけるような端的な発問が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で「いじめ」と「よりよい社会と私たち」について、重点的かつ継続的に学習できるように、教材とコラム、多様な学習形態を配置し、主体的に考えられるよう配慮されている。 ・道徳ノート(別冊)に友達の考えをメモする欄を設け、生徒が自らの成長を実感するとともに、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握できるよう工夫されている。 |
| 5 総合所見 | 多様な教材を取り上げるとともに、「考え、議論する」授業を構成するための要素や問題解決的な学習を教材にあわせて取り入れることで、道徳的価値の理解や自覚を深められるよう工夫されている。 | 道徳的価値を理解し、自らの生き方について考えを深められるような発問を設定し、別冊の「道徳ノート」に自分の考えを書き、蓄積することで、自らの成長を感じることができるよう工夫されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 学研教育みらい（新・中学生の道徳 明日への扉） | 廣済堂あかつき（中学生の道徳／道徳ノート） |
|---|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・特設ページの「クローズアップ」などで関連情報や異なる視点を取り上げ、生徒が多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 ・巻末の「学びの記録」を活用し、学期ごと振り返りを行うことで、自己の生き方について考えを深められるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、「自己」の探求をテーマとし、多様な発問事例や別冊を用いて、道徳的価値に焦点化されるよう工夫されている。 ・本冊、別冊ともに教材や資料を豊富に掲載し、様々なテーマや心の有り様を多面的・多角的に考え議論できるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校生活に対応した教材配列により生徒の発達の段階に応じて学習が進むよう配慮されている。 (2) 地域に関連した内容や、いじめ防止など身近な課題を重点的に扱うことで、生徒の関心・意欲を喚起するよう工夫されている。 (3) 漫画やグラフなどの教材で自由な発想を促し、生活経験と道徳的価値を結びつけて主体的・対話的に学べるよう工夫されている。 (4) SDGs やキャリア教育について、生徒が多面的・多角的に考えられるよう全学年で重点的な指導の工夫がされている。 (5) ユニバーサルデザインフォントを採用し、文字は行間にゆとりをもって記述され、発達段階に応じて配慮されている。 (6) AB 版の教科書で行間にゆとりをもたせ、全ての資料が見開きから始まるなど、資料の把握がしやすいよう配慮されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 教科学習との関連、日常生活でのトラブル、社会への参画など、学年の発達段階などに合わせて学習できるよう配慮されている。 (2) 漫画等様々な形態の教材を配置し、各教材には「偉人」の格言を掲載するなど、発展的学習が可能になるよう工夫されている。 (3) 本冊コラム「thinking」、別冊「道徳ノート」に補助的な教材が補完されており、より主体的に追究できるよう工夫されている。 (4) 教材末の「学習の手がかり」、「考える・話し合う」で道徳的価値への理解を促し、より総括的に考えられるよう配慮されている。 (5) 学年段階を考慮し、第1学年は本文の文字サイズを大きくしている。文字量や書き込みのスペース等も配慮されている。 (6) 本冊、別冊とも AB 版であり誌面にゆとりがある。また、カラーユニバーサルデザインを用いて視覚的に配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 学年ごと発達段階に応じた特定の内容項目に重点を置くことで、3年間を通じて学びを深められるよう配列されている。 (2) 読み物教材以外にも多様な教材を配置することで、柔軟な指導計画が作成できるよう配慮されている。 (3) 全学年で東日本大震災に関する教材があり、現代的な課題に対する自分の思いや向き合い方を主体的に考え、友とともに対話的に考えを深められるよう配慮されている。 (4) 見開きで写真やグラフを提示し、教材と出会った生徒が「問い」をもって学んでいけるよう工夫されている。 (5) 教科書にはメモ欄が設けられ、巻末の「学びの記録」は3学期分が用意されるなど、教科書だけで学習を進められるよう工夫されている。 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 「自分自身に関すること」から学習をはじめ、行事等、様々な学習機会に応じた教材、思春期に関わる教材も配列されている。 (2) 別冊には、他教科や行事との関連が可能になるような調査活動や自己の振り返りのページ、資料が設けられ、教科横断的、探求的な学習ができるよう配慮されている。 (3) 「いじめ」「生命」「情報」をキーワードに、葛藤や逡巡が生まれるよう工夫された教材が配置され、環境問題等についても多面的・多角的に考えながら学習できるよう配慮されている。 (4) 自然環境の経年変化を比較した写真、直筆の回想録等、写真や資料を用いてより効果的に情景や心情が伝わるよう工夫されている。 (5) 「学習の記録」では、教材ごとに自己評価欄が設けられ、心に残った授業について抽出し、理由が書けるように工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」というトピックで主体的・対話的で深い学びの授業提案が示されており、全ての教師が教材の特長を存分に生かした学習ができるよう工夫されている。 ・主題名が明示されないこと、自己を見つめ、よりよい生き方を考えられる発問、現代的な課題を多面的・多角的に考えられる重点的な指導など、主体的に学習できるよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、人や生物の生死、障がいを乗り越える生き方、命の尊厳などについての教材が多く、葛藤や逡巡を通して教科横断的に学べるよう工夫されている。 ・別冊を併用し道徳的理解を深め、豊富な資料をもとに発展的な学習を行うとともに、自己を見つめる機会を増やすなど相乗効果をねらいとした工夫がされている。 |
| 5 総合所見 | 教材と出会う、教材をきっかけとして他者と対話する、対話をもとに自己との関わりを問い直すというプロセスが道徳の授業で展開され、生徒が主体的に問題意識をもち、学習できるよう考慮されている。 | 人間としての生き方について考えられる本冊と自分自身を見つめ、考えることで、道徳的価値の理解を確かなものにしていく別冊により、自己の生き方について考えを深められるよう配慮されている。 |

| 採択基準 | 発行者名 日本教科書（道徳 中学） | |
|---|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 各教材で、内容理解を深める発問と、自己を振り返る発問が設定され、自己を見つめることにつながるよう工夫されている。 郷土教材、海外に係る教材をはじめ、身近な事例において様々な視点から、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 | |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 〕 | (1)学年に応じた学校行事・生活に配慮した教材で編集され、発達段階や、興味関心に合わせて考えながら読めるよう配列されている。 (2)ネット社会やキャリア教育の教材を各学年に配置することにより、発達段階に合わせ学習することができるよう工夫されている。 (3)授業の終末の、「話し合ってみよう」「聞いてみよう」の問いで、生徒が主体的に関わり合って学べるよう工夫されている。 (4)様々な答えや考え方ができる教材を配置することで、議論や話し合いによって、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 (5)写真資料、さし絵を教材の適所に配置するにとどめるシンプルな紙面構成で、本文に集中できるよう配慮されている。 (6)教材の下段に難しい言葉についての説明があり、内容を把握できるよう配慮されている。 | |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 〕 | (1)同じ人物が登場し、日常生活の中で迷ったり成長したりしていく姿を描いた教材を各学年に配置することで、発達段階を考慮した教材配列がされている。 (2)教師が書き下ろしたオリジナル教材を多数配置することで、生徒が主体的に取り組み、地域や生徒の実態に応じた教材で指導計画が作成できるよう配慮されている。 (3)オープンエンドの教材を配置することで、生徒の多様な価値観を導き出し、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 (4)さし絵と写真を使い分けたり、さし絵の大きさを変えたりすることで、教材の状況把握や心情理解に生かせるよう工夫されている。 (5)巻末に年間の心の成長と道徳の授業の振り返りが配置され、短時間で記入できるよう工夫されている。 | |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値を自分ごととして捉え、多様な価値観と出会うように、「人権」「福祉」「環境」「生命」「社会参画」等、様々な内容を扱った読み物教材が配置されている。 学習指導要領の内容項目順に教材が配置されており、地域や学校の特色や方針、カリキュラム・マネジメントによって、教材の順番を入れ替えて指導計画が作成できるよう配慮されている。 | |
| 5 総合所見 | 教材を内容項目順に配列したり、自己を見つめ、多面的・多角的に考えられることを可能とする発問を複数示したりすることで、学級の実態に合わせて年間計画や指導案が作成できるように配慮されている。 | |